新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三三二〇　營業局專用(3)三三二五
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

覇王山頂に砲列 徐州砲撃開始
砲聲殷々 城內外に轟く

【覇王山十七日發國通至急報】覇王山を占領した添田、倉林、兩角、中井各部隊は山頂に砲列を布き午後三時を合圖に一齊に砲門を開き眼下に横はる徐州城の砲撃を開始した、的確な砲彈は西側城壁に命中炸裂しつゝあり、砲聲殷々として細雨に煙る徐州城內外に轟きわたつてゐる

臥牛山要塞をも砲撃

【覇王山十七日發國通至急報】覇王山よりの徐州砲撃に呼應してわが軍は敵最後の抵抗線たる臥牛山陣地に向つて猛攻撃を開始した、戰鬪は夜に入るに從ひます／＼激烈となつた

徐州西方八キロの 十八里堡に進撃

【北京十七日發國通】わが北上軍の一部は十七日午前十時徐州西方約二里の十八里堡附近に達し、先遣部隊は前面の敵を壓迫しつゝ攻撃前進を續けつゝあり、徐州も今や全く指呼の間に迫つた

銅黄街道十キロの間 敵の敗兵充滿す

【鄒棗十七日發國通至急報】徐州城內に通ずる銅黄街道は覇王山より退却せる敵兵を以て充滿し慘憺たる狀景を呈してゐる、覇王山より徐州要塞の核心までは僅かに十キロ餘

【鄒棗十七日發國通】わが軍が永城を進發して隴海線に向ひつゝありとの報に驚愕した李宗仁は十二日朝中央軍直系の關麟徵及び孫連仲等の將領と共にわが軍の隴海線遮斷に先だち逸早く徐州を逃がれ歸德に走つたが、關麟徵麾下の第二、第廿五、及び王仲廉の第四、第八十九各師は特別列車によつて退却したことが判明した、これと同時に徒歩によつて退却中の第廿五師の一部及び新編六師は十七日午前鄒棗附近の遭遇戰においてわが倉林、添田部隊のために潰滅的打撃を受けて支離滅裂となり銅黄街道はこれらの敗兵により混雜をきはめてゐる

李宗仁徐州脫出

【鄒棗十七日發國通】徐州戰線最高指揮官李宗仁は二十五師長關麟徵と共に去る十二日密かに徐州を脫出し歸德に逃れたこと明確となつた

曹州攻略戰 敵遺棄死體三千

【北京十七日發國通】曹州城攻略における彼我損害は敵遺棄死體三千、わが戰死卅五

蕭縣城內掃蕩完了

【上海十七日發國通】上海軍發表＝〇〇部隊は十六日午後七時蕭縣城內に突入午後九時までに城內大部分の掃蕩を終れり

戰史上稀な戰果
微山湖渡渉 奇襲作戰

【夏鎭十七日發國通】皇軍の精鋭〇〇部隊は蔣介石ラインの一要塞をなす微山湖畔夏鎭より對岸二里の王樓に壯烈な敵前渡渉戰を演じて戰史上稀な大戰果を收めた

十五日午後七時夏鎭に集結を終つた〇〇部隊は菊地〇〇隊と協力折柄の薄明を利して進發、小舟に便乘した決死隊掘尾部隊の勇士が先づ肅々として

軍船

を進める、微山湖は水が涸れてゐて中央水深三尺、兩岸千米は荒地となり水のある地帶は葦が一面に繁りその間に航路が四方に掘り廻らされて大クリークを形成してゐる、第二陣山本部隊がこれに續く、夜十一時に至り十六夜の月が東天に皎々と昇つたがこの時突然支那特有の烈風が吹きはじめ黄塵空を覆ふて月明ために暗く皇軍の壯擧を助ける、一時間、二時間、不氣味な靜寂のうちにクリークに沿つて舟が進む、彼岸まで三千米の湖心でパッと水中に飛込んだ決死隊は深みにはまつてよろける戰友、藻に足をとられて倒れかゝる戰友、互に助け合ひながら無言のうちに敵陣王樓を目指して猛進、わが軍の渡湖に氣づかないか敵も未だ發砲しない、漸く泥濘から脫した決死隊が王樓を包圍したとき部落の周圍に塹壕銃眼を構築してゐた敵陣からバタバタと手榴彈、チエコ機關銃が火を吹き出した、掘尾隊長の凛たる突撃號令とゝもにわが精銳は喊聲をあげ手榴彈を敵陣にあびせると同時に敵陣に突撃、虛を突かれた敵軍は應戰の暇もなくその儘

總崩

れとなり王樓は呆氣なくわが手中に歸した、時に十六日午前三時十五分、わが軍の損害僅かに六名の負傷者を出したのみで歷史的渡渉戰に成功し引續き敗敵を追ひ同四時二十分には後方の朱饋を一氣に占據し、第二陣の山本部隊も同七時には大肚を陷れ沛縣に迫り目指す徐州へ僅かに十五里となつた

微山湖を渡渉し 沛縣を急襲

【夏鎭十七日發國通】斷末魔の徐州へ急進する〇〇部隊は十五日午後十時突如として微山湖の東岸夏鎭より強行渡湖を開始した、幅二里の微山湖は湖といふよりも濕地に近く葦が一面に密生し膝までずぶり／＼とはいり込んで渡渉甚だ困難であつたが、わが勇士は萬難を排して舟によつてその四分の三を渡り殘餘は渡渉して對岸の沛縣を急襲した、この奇襲に肝をつぶした敵はあはてゝ退却を開始したのでわが部隊は直ちにこれを南方に向つて急追中である

窮餘の一策として 黄河堤防決潰企圖

【上海十七日發國通】當地外人筋に達した情報によれば、徐州戰線に於る皇軍の破竹の勢に漸次壓縮せられつゝある支那軍は窮餘の策として蘭封附近において黄河の堤防を決潰せしめ戰局の挽回を圖らんと策してゐると傳へられてゐる、黄河の水源何れの方面に流出せしめんとするか明らかでないが、六、七月の増水期を前に黄河を決潰せしめ洪水を現出せしめれば一帶の農民は戰禍の上に水災に見舞はれ支那民衆の困窮計り知れざるものあり、自國民にかゝる災害を敢へて及ぼさんとする支那軍の弄策は人道上の問題とされてゐる

隴海線遮斷區に 敵遺棄車輛六百

【北京十七日發國通】疾風迅雷のわが軍の隴海線遮斷によつて敵は同線上の輸送材料を持ち去る餘裕なく線路上に遺棄したまゝとなつてゐるが、碭山、歸德において敵の遺棄した車輛は目下判明せるものゝみでも約六百を算し全遮斷區間を通算すればその數益し莫大に達する見込みである

國際法無視 催涙ガスを使用 山西最後の喘ぎ

【北京十七日發國通】蘭封以東隴海線の敵大軍潰滅の火蓋は南北呼應して一齊に切つて落されたが、これに呼應してわが山西作戰でも山東、江蘇省南方面で打のめされた敵軍の敗走路を遮斷する一方黄河沿岸の殘敵を一掃して敵軍を完膚なきまでに叩きつぶし再起不能に陷らしむべく活潑なる討伐を行ひつゝある、これに對し敵軍は國際法を無視して曲沃西南六里の山地附近では催涙ガスを使用する等死物狂ひとなつて抵抗してゐるがわが軍の猛攻に堪へず續々敗退してゐる

李文章の遊撃隊 わが南下部隊に撃滅
李司令も無殘な燒死

【上海十七日發國通】支那側情報によれば、黄河々畔濮縣附近にあつて遊撃戰に從事中であつた李文章の率ゐる遊撃隊は、十三日朝滑縣の牛屯鎭に於てわが南下部隊と遭遇忽ちにしてわが軍に包圍され、敵本部は突如火を發し司令部樓上にあつて指揮を執つてゐた司令李文章は逃げ場を失ひつひにみぢめな燒死を遂げ、麾下數百の遊撃隊も全滅した

蔣・徐州作戰に苦慮
遺棄せる訓令發見

【上海十七日發國通】十二日永城陷落の際敵司令部が遺棄せる書類より蔣介石が部下に下せる左の如き訓令が發見された

日本軍は魯南において當面の我軍を突破して速かに優勢なる地位を獲得せんと企圖し主力を擧げて隴海線東段方面に集中し一擧にその目的を達成せんとしつゝあり、しかしこの方面に集め得る兵力は最大限十萬を出でざるべし、これに反し我軍がこの方面の線上に作戰せしめ得る兵力は少くとも日本軍の五六倍の優勢なりまた敵の後方は到る所我軍の襲撃を受け補給に不便なり、これに反し我軍の後方は良好なる交通線を有しその補給および兵力の轉用が容易にして用兵の便、不便は日本軍との比較にならず目下日本軍は微力なる兵力をも顧みず外線包圍作戰を採用しつゝあり、斯かる無理な作戰により我軍に向ひ逆攻し來る日本軍は自ら敗退の運命を辿ること疑ひなし、わが忠勇なる將兵はよくこの理を辦へ須く必勝を期し以て任務に邁進し各方面の敵を撃滅せよ

右によつて觀れば蔣介石が如何に徐州會戰を重視し焦慮しつゝ部下を激勵してゐるかゞ窺はれる

敗走の敵を猛爆 戎克數百隻撃沈

【上海十七日發國通】宿縣の敵敗走の報に接した陸軍飛行隊前島部隊〇〇機は十六日午後七時急遽〇〇基地を出動、宿縣＝靈璧街道を東へ向つて潰走中の敵大部隊に對し果敢なる猛爆を敢行、黄昏の低空攻撃に敵兵を完膚なきまでに粉碎し、更に機首を轉じて洪澤湖上空に飛び戎克數百隻に便乘して遁走する敵兵を襲撃その過半數を沈沒せしめ全機悠々凱歌を奏して歸還した

徐州、宿縣方面に 海軍機の大活躍

【上海十七日發國通】艦隊報道部十七日午前十一時發表＝徐州方面陸軍作戰に全面的協力をなし、その戰果を一層大ならしめつゝある海軍航空部隊は、十六日終日左の如く各所に勇猛果敢な爆撃をなせり

一、森永大尉の指揮する部隊は徐州東方地區における村落陣地に據る敵兵に大爆撃を行ひ多大の損害を與へたり

一、柴田大尉の率ゐる部隊は嵗城集附近の密集部隊を爆撃、集團部隊および軍馬に大損害を與へたり

一、園川少佐の率ゐる部隊は趙墩驛における多數軍隊を搭載せる軍用貨車群および附近敵兵を爆撃

一、村田大尉、佐藤中尉等の率ゐる各部隊は大廟その他の部落に據れる敵兵および戰車群を爆撃

一、高橋大尉、高岡中尉等の指揮する各部隊は蒙城西部地區における敵軍團部隊、部落陣地等を爆撃

一、岩城大尉の率ゐる部隊は大運河方面の敵部隊を攻撃し各部隊へ何れも多大の損害を與へたり

一、宿縣その他各所に對しても連續的爆撃をなし潰滅的損害を與へその他徐州全線に亘り敵に極めて大なる損害を與へたり

南支方面においてもわが航空部隊は左の攻撃を續行せり

一、梅縣、龍巖、建平飛行場を空襲せるも敵機を認めず飛行場を爆撃相當の損害を與へたり

一、廣九鐵道にて輸送中の軍用貨車群を爆撃し大半を爆破せり

一、三水附近で軍需品輸送中のジャンクを爆撃し多大の損害を與へたり

白雲飛行場を爆撃せる部隊は飛行場および兵舍に相當の損害を與へたり

廈門全く平靜に歸る
判明せる掠奪、破壞の跡

【上海十七日午後四時發國通】艦隊報道部十七日午後四時發表＝廈門その後の狀況次の如し

×　×　×

市內は極めて平靜なり、良民の山中その他に避難せるものも歸宅し門戶を開き市內の住民漸次増加し敗殘匪の山中に遁入せるものは殆んどこれを平定せり、陸戰隊司令官は市內の治安維持のため良民代表者を集め懇切なる指示と市民心得を諭示し民衆にこれを徹底せしむ、而してこれら市民代表をして市民と陸戰隊との連絡に當らしめつゝあり、廈門市の帝國權益は外觀舊態を呈せるも邦人引揚後は當局及び支那軍により占據せられ內部は慘憺たる狀況に破壞せられその主なるものを擧ぐれば次の如し

一、三井洋行は市政府教育科これを使用し書類は破棄せられ倉庫は破壞せらる

二、大阪商船會社事務所は稅警隊これを使用し器物はすべて破壞せられ慘憺たる狀況なり

三、旭衞書院は市防空處として使用せられ內部の物品の殘るものなし

四、その他の日本警察分署も殆んど破壞せられ日本人商店は殆んど商品を持出され屋內散亂甚し

フランコ政府 初代駐滿公使 アモエド氏に決定

駐日滿洲國大使館より外務局への來電によれば、スペインフランコ政府の初代駐滿公使は前リスボン駐在公使アモエド氏に決定し、同氏は既に本國を出發滿洲國に向け赴任の途についたと、曩にイタリーとの公使交換及びドイツの滿洲國正式承認に引續く滿洲國外交の飛躍であり政府では公使の銓衡その他の準備を進めてゐる、なほアモエド氏の閱歷は左の通りである

一九一三年同國外交界に入りコンスタンチノープル、リスボン、ローマの各地に勤務し一九一八年コペンハーゲン三等書記官、ワシントン在勤二等書記官、一九二九年一等書記官に任じシドニー總領事、リスボン公使を經て今日に至る

定例參議會

【東京國通】定例參議會は十七日正午首相官邸に開催宇垣參議以下各參議、政府側から近衛首相、廣田外相、末次內相、賀屋藏相、木戶文相、鹽野法相、吉野商相等出席午餐を共にした後當面の諸問題につき懇談を重ね午後三時過ぎ散會した

橫溝情報部長等 上海發北支へ

【上海十七日發國通】內閣情報部長橫溝光暉氏以下情報官一行六名は去る十日來滬以來約一週間に亘つて軍司令部、艦隊司令部、陸海外出先官憲、維新政府などを歷訪、情報宣傳に關して意見を交換した上、上海における各種施設を視察し十七日朝上海出帆の奉天丸で青島大連を經由北支に向つた

滿鐵松本弘報課長來京

滿鐵總裁室弘報課長松本豐三氏は十七日午後九時發列車で大連發來京の途についた

曹錕氏逝去 十七日天津で

【天津十七日發國通】北京政府時代大總統として直隸派の黄金時代を作つた曹錕氏は數日前から風邪で臥床中、肺炎を併發十七日午前一時天津英租界の自邸において逝去した享年七十七

氏は河北省の生れで袁世凱の知遇を受けたが袁の死後は直隸派の中心人物となつて活躍し、一九二六年吳佩孚失脚し直隸派の中支における地盤が失はれてからは沒落のやむなきに至り、爾來天津で閑居してゐた、昨年末臨時政府が成立するやこれに對し滿腔の贊意を表明し臨時政府が正式政府となる曉にはこれが最高顧問に擬せられてゐた

人事往來

▲鈴木謙則氏（中銀）十七日來京國都ホテル
▲遠藤新氏（建築業）同
▲田中茂太郎氏（鑛業）同
▲矢野善隆氏（近藤林業）同
▲丸山美一氏（旅順女子師範）同中央ホテル
▲佐々木忠右衛門氏（朝鮮黄海道內務部長）同
▲末永省二氏（同道會議員）同
▲毛勝伊之助氏（同）同
▲大久保政雄氏（同）同
▲神田勇氏（協和建物）同都ホテル

厚生省では惡血の遺傳を斷つて日本民族の血を清め地上から精神病者を一掃しやうと斷種法の制定に乘り出した▼厚生省の調査によると現在警察に屆出のある精神病者だけでも八萬六千四十七人で人口一萬人につき十二人二分五厘の割合になつてゐる▼これを昭和六年の總數七萬三千七百三十一人に比べると僅か五年の間に一萬二千三百十六人の増加になつてゐる▼低能者に到つては更に多く國民の二パーセント人口九千萬と見て百八十萬人の多數が推算されるが▼これは殆んど醫學の力の及ばぬものでしかも遺傳率が非常に優性だとされてゐる▼かういふ狀態では眞の健全なる國家は到底望めない眞の健全國家を造るにはどうしても惡質子孫を貽さないやう▼國家の仕事としてこれをなさなければ目的を達成することが出來ないといふのが斷種法制定の理由である▼こんど制定しやうといふ斷種法は强制斷種ではなく大體任意斷種の程度であらうが學者其他から相當反對論があるやうだ▼しかし諸外國では既にこの法を採用してをり單に日本といふ小さいものでなく大きく全人類の上から云つて早晩必ず制定せねばならない問題であらう

社說 大豆增產について

さきに發表された滿洲國の產業開發五ヶ年計畫の修正案中に、大豆の增殖案があつたことは周知の如くである。そしてこの計畫が樹てられたのは、それによつて對外輸出餘力を增大せしめんとするものである點が注目されたのである。換言すればそれによつて日滿一體の國外輸出餘力を增大せしめんとするものであり即ち日滿一體の國際收支改善に資せんとするものなのである。

大豆增殖計畫の原案においては、計畫最終年度の康德八年度に於ける生產目標は四百七十二萬キロトンと言はれてゐたが今次の修正案は之を五百萬キロトンに引上げてゐる。それは本年から康德八年度までの四ヶ年間にそれだけの增殖を企圖してゐるのであるから、これによる輸出可能增加見込金額は一億圓度程に上ることとなるであらう。滿洲國產業五ヶ年計畫遂行に當つて大豆增殖によるこの追加輸出價額一億圓は決して僅少な資金ではないであらう。

大豆增殖の目的をなす輸出振興は、國際收支の改善方策といふ形で現れたが、これは滿洲國產業五ヶ年計畫の再編成に於いて一つの重要な役割を認識され、計畫目標に一新局面の展開してゐる點が注目されるのである。滿洲國產業五ヶ年計畫の目標を約言すれば、軍需資材の現地調辦、國內不足資材の自給自足、日本の不足資材の補給等とされるが、支那事變による情勢の激變、戰時體制下に於ける日滿國力充實四ヶ年計畫の登場となつて、滿洲國側の計畫も必然的に强化擴充を必要とされこゝに計畫目標の一つとして輸出振興が新たに追加せられることになつたのである。現在日本に於いても輸出振興の必要が大いに論議されてゐる所以を考ふれば、この問題の重要性も明らかとなるであらう。滿洲國としてもこの問題に對して疎かであることは出來ぬのである。

大豆增殖實現の方法としては、增加作付面積に對して農事合作社を通じ資金の貸與を行ふことゝなつてゐる。しかしそれだけで足るかどうかは問題であらう。奬勵金の交付といふやうな具體的な手段が當局の指導、宣傳以上に必要ではあるまいか。

なほ大豆價格の問題についても考慮を要するであらう。農民にとつては大豆價格の安定が極めて肝要である。折角の增殖が價格の低落によつて減殺されては困るのである。大豆價格の安定調整、それには大豆の配給統制について周到な用意がなさるべきであらう。これらの點に關しては過去に於ける多くの經驗が生かされるべきである。增殖の成果に期待されるところが多いだけに、計畫の圓滑な遂行を待望せざるを得ない。

徐州、蚌埠の拋棄は
東方作戰據點の喪失!
軍事專門家の見解

【北京十七日發國通】徐州陷落必至と見た蔣介石は隴海線における抗戰を拋棄し更に河南省南部、湖北省北部の京漢線南段地區において敗軍を再編成してわが軍に掉尾の決戰を試みんとしてゐるもの〻如くであるが、內外軍事專門家の觀測によれば、徐州、蚌埠の要衝拋棄後の黨軍が再び抗戰體勢を整へてわが精銳に抵抗するは短時日には不可能とし次の如き結論を下し、その崩壞すべきところを强調してゐる

一、黨軍はすでに上海、南京の戰線で徹底的敗戰を喫し北支戰線で痛めつけられ、戰敗の痛苦を繰返し體驗してゐる今次徐州の敗戰によつて愈よ抗戰に對する無能力を表面化し、しかも現有抗戰力の大半を消耗しつくしたのに、短時日に頽勢を盛返し日本軍と一戰を交へることは不可能である

一、殊に徐州、蚌埠の兩地は支那古來より上海と共に東支那における軍事的要衝としてこの兩地の爭奪如何が覇權掌握の分岐點とさへいはれてゐたほどで、今次この要地を拋棄するのやむなきに陷つた事は黨軍の東方における作戰的據點の全喪失を意味するものであつてこの據點の喪失こそ蔣介石の軍事的勢力を奈落の底にまで陷しこむものである

一、以上の如く徐州、蚌埠の陷落は蔣の軍事的基礎をゆるがすものであり、もし日本軍がその追擊戰に於て隴海線沿線一帶より潰走する敵軍を驅倒潰滅しさらに長驅京漢線南段に向け追擊を試みるならば、武漢一帶の蔣介石最後の抗戰據點も崩壞するの外はあるまい

金鄉附近の攻略戰
敵死體千二百
夥しい彈藥、糧食を鹵獲

【濟南十七日發國通】わが大包圍陣たる金鄉、魚臺の攻略は十四日夜敢行され金鄉は同夜八時に、魚臺は同夜十一時占領したが、同戰鬪における敵遺棄死體一千を下らず、重輕機關銃、迫擊砲各十、彈藥十萬發、糧食多數を鹵獲した一方〻城より南下した〇〇部隊は十五日正午城武東北方において金鄉より西へ潰走する約一千の敵と遭遇これに猛烈なる攻擊を加へ敵は西への退路を斷たれ已むなく東南方へ退却したが、この衝突で敵の遺棄死體二百餘、迫擊砲三、小銃彈三萬發を鹵獲した

曹州城は
春秋以來戰略上の最要衝

【曹州十七日發國通】無敵皇軍の威力の前にひとたまりもなく落城した曹州城は山東省の西南端荷澤縣の中央に位ひし今より約八百年前周の時代までは大黃河の北岸にあつたが河の流れが變つて左岸に移つたといふ變つた場所、春秋時代は全盛を極めたといふところであるがその後戰爭內亂が絶へず支那有史以來こゝが一番多く戰火に荒され、戰略上でも最も重要點とされてゐた、その後宋の時代に外敵を防ぐ意味において堅固な城壁を二重に築いたのが現在に至るまでそのまゝになつてゐる城內附近は毎年黃河氾濫の影響を受け農作物は不作であつたのを民國十三年に鎭守使が來て北門から一キロ半の周圍全部に高さ五米餘の土饔を築き住民は農業に精勵、收穫される麥粟などの農產物は之を城內で買上げる方法を取りその後民國十九年督軍として乘込んで來た韓復榘更に最近における商震も之に據つたので最近は山東西南部第一の有福な都市として知られてゐる

東亞を中心とする
通信組織化要望
注目される遞信局長會議の答申

【東京國通】十六日の遞信局長會議における諮問事項に對して各遞信局長よりそれ〴〵答申をなしたがその答申に於て特に重要視されるものは

一、對支、對滿を中心として遞信行政の改組
一、對外宣傳の强化
一、東亞通信ブロックの組織化

等が擧げられた、しかして對外宣傳の强化については殊に戰局に關する支那側のデマ放送による列强の誤解一掃のため計畫的に對外宣傳放送を行ふ必要が痛感されてゐるが東亞通信ブロックの組織化としては東亞殊に日本の通信界が萬國通信會議によつて梗塞される不利不便を除去するためには東亞を中心とした東亞協議會を組織して「日本の通信」を確立することが大陸政策上緊要視されてゐるだけに東亞通信協議會については正式に當局において檢討實現化に努むることになつた

英內閣大改造

【ロンドン十六日發國通】チエンバレン首相は空軍擴張計畫遲延に端を發する政局不安に備へ內閣改造の準備を進めてゐたが、當面の責任者たる空相スウイントン卿はいよいよ辭職に決定、同時に今回襲爵してハレッチ卿となつたオームスビー・ゴア植民相の上院入りに伴ひいよ〳〵內閣の一部改造を斷行することゝなり、十六日夜次の顔觸が發表された

空相　キングスレー・ウッド(前保健相)
自治領相　スタンレー卿(前印度事務省次官)
植民相　マルコム・マクドナルド(前自治領相)
スコットランド相　コルビール中佐(前大藏次官)
保健相　ウオルター・エリオット(前スコットランド相)
辭職　スウイントン空相
同　オームスビー・ゴア植民相

なほ右に伴ふ各省次官の更迭をも次の如く發表した

空軍次官　ハロルド・バルフオア(前印度事務省次官)
大藏次官　ユアン・オーレス(前商務次官)
商務次官　ロナルド・クロス
印度事務省次官　アンソニー・ミューアヘッド(前空軍次官)

孫科モスクワへ

【パリ十六日發國通】支那政府特使孫科は十六日本國政府からの訓令に接し支那歸還の豫定を變更して急遽パリ發再度モスクワに向つた

フランス政府 米軍用機購入

【パリ十六日發國通】フランス政府はアメリカから軍用機百臺を購入することに決定十六日航空省から發表があつた但し今後はフランスの新軍事政策に伴ふ緊急需要に應ずるためフランスの飛行機製作能力が不足の場合も更に外國に對し飛行機の註文を發する意向はない旨附加してゐる

◇……徐州を猛擊する我が砲兵陣

斷末魔の支那
囈語の强がり
外人筋では國府の敗戰に刻印

【上海十七日發國通】徐州の陷落迫ると共に漢口の動搖甚しく國民政府諸機關の移轉、市民の逃難、軍事當局の狂氣じみた戒嚴令等早くも落城の前夜を想はしむる混亂狀態に陷つたと傳へられるが、支那側軍事當局はかゝる內部の動搖を隱蔽するため故意に徐州大會戰の意義を過少に評價して「徐州陷落するとも悲觀せず」と次の如き理由を述べて斷末魔の强がりを嘯いてゐる

一、支那は長期抗戰の準備あり、今後十ヶ月はその抗戰繼續可能である
二、支那軍は各地において日本軍の戰鬪力を漸次消耗しつゝある
三、日本軍は南京陷落により戰局の終末を希望したが、わが抗戰力は以前よりも增加した、これと同樣徐州陷落も抗戰力の喪失とはならぬ
四、日本側は徐州の獲得の反面山西省を喪失してゐる
五、支那側は徐州の確保に矛盾がある
六、徐州を喪失したとて支那側は抗日戰爭を繼續する

と言ふにあり早くも徐州陷落を前提としての宣傳を開始した、外人筋では

徐州の大會戰で支那側は事變以來最大の損失を蒙るだらう、日本軍は徐州と隴海線の獲得により軍事上に最大の便宜を得、國府は漢口の守備もまた拋棄のやむなきに至るだらう、但しこれにより支那側の長期抗戰の計畫が致命的打擊を蒙ると見るは早計だ

と論じてをり今や徐州會戰の結果に內外人が括目して注視してゐる

皇軍の猛進擊で
支那軍右往左往
西部山東より歸來した支那人談

【濟南十七日發國通】最近山東西部戰線方面から歸濟した一支那人目擊者の談によれば隴海線の支那軍は實に悲慘な敗戰の末路を辿つてゐる、すなはち金鄉、魚臺の戰ひでは山東軍の遺棄死體山野を埋める有樣で、支那軍部隊はわが軍の猛擊に擊破され四散し、各指揮官の手中に殘つてゐるものは戰鬪前の四分の一乃至三分の一の兵力に過ぎない、勿論新規編成軍は大混亂して騎兵は逃げ途を探して只管逃廻り湖沼地帶西方地區ではこの右往左往する兵がわが軍に捕へられて武裝解除されたものの多數で、この外は大概逃亡してしまつたがこれ等の兵は各地で掠奪暴行を働き今では全く匪賊と化した

華僑激憤、國府離反空氣濃化

【香港十六日發國通】わが軍の廈門占領について國民政府は例の如く否定的發表をなすとゝもに支那軍の優勢を宣傳して南洋華僑に呼びかけ軍費の徵發に努めてゐるが、廈門避難者の香港到着とゝもにその敗戰ぶりが暴露され、國民政府の荒唐無稽の宣傳に憤慨して南洋諸島シンガポール方面の華僑筋からも問合せ電報が續々として殺到してゐる、從來欺瞞的國民政府の宣傳に乘ぜられて莫大なる軍資金を每月送金してゐた華僑等は廈門の慘めな敗戰ぶりに激昂して今後は國府の宣傳に乘るべからずとして居り、華僑の國府離反空氣はこれを機會として次第に釀成されるものと見られる

閣議決定事項

第二十二次國務院會議は十六日午後二時より國務院會議室で開催され左の諸件を決定した

一、1新京特別市官制中改正の件 2滿洲里及海拉爾市政管理處官制中改正の件
二、鐵道警護總隊の管轄區域內に於る警察法令の適用に關する件
三、1奉天農業大學官制 2哈爾濱工業大學官制 3新京醫科大學官制
四、1師道高等學校官制 2高等官々等俸給令中改正の件 2委任官々等俸給令中改正の件
五、興安學院官制中改正の件
六、1工業實習所官制 2高等官々等俸給令中改正の件 3委任官々等俸給令中改正の件
七、貿易統制法に基く小麥粉の輸入稅免除に關する件
八、監獄官吏服制中改正の件
九、人事

定例參議府會議

十七日の定例參議府會議は午前十時より開催され、左の二件を通過した

一、滿洲石油株式會社法中改正の件
一、水力電氣建設局官制中改正の件

師道高校 官立大學 校長會議第一日

第一回師道高等學校長および官立大學長會議第一日は民生部側孫民生部大臣はじめ宮澤次長、皆川敎育司長、一條、荒木兩督學官以下關係科長、學校側樋口吉林師道高等學校長、山口新京醫大學長、鈴木哈爾濱工大學長、宇田農大學長、廣田留學生豫備校長、野上技術員養成所主事等出席の上十七日午前九時民生部會議室で開會、先づ孫民生部大臣の訓辭ありたる後各校長、學長の狀況報告あつて議事に入り、次の諮問事項および指示事項、質問事項に就き討議を重ね午後四時過ぎ散會した、十八日は午前九時より校長および學長側の希望事項に就き協議が行はれる筈

△諮問事項
一、日系入學取扱方針に關する件
二、入學試驗施行及び銓衡方法に關する件

△指示事項
一、敎職員人事編成に關する件
二、敎授要目制定に關する件
三、學生訓育方針に關する件
四、豫算編成方針に關する件

△質問事項
一、物價騰貴に依る豫算膨脹に關する件(哈)
二、學生給費制度に關する件(哈、新)
三、建國大學令と大學令の調整に關する件(哈)

學生武道使節團

ニュールンベルグ着

【ニュールンベルグ十六日發國通】盟邦イタリーにおける武道實演を了へたわが學生武道使節團多羅尾、田口兩監督以下十二名の柔劍道の猛者一行は十五日ニュールンベルグに到着、驛頭にはドイツ運動競技團體代表をはじめヒトラー青年團員等出迎へ代表より「ドイツ國民が賞讃措くところを知らぬ東洋の偉大なる日本國民をわれ〳〵は心から歡迎します」と歡迎の辭を送りわが田口監督はこれに對し日本語をもつて鄭重な挨拶を述べ選手一同を紹介した、かくて一行は直ちに市中見物をなし同夜は休養した

スターリン等暗殺計畫に「日本新聞の報道は正確」

【ワルソー十六日發國通】スターリン、ウオロシロフ兩巨頭の暗殺計畫は當時ポーランド各紙に大見出しで掲載されたが、クルエル・ワルソースキー紙の十三日モスクワ特電は右報道は完全に適中したとし左の如く報じてゐる

スターリン、ウオロシロフ兩巨頭の暗殺計畫に關する日本新聞の報道は全く正確なることが裏書された、右報道はモスクワで大センセーションを起してゐる、逮捕者は次第に增加して行くばかりで陰謀はクーデターを目的とし廣範圍にわたつてゐる、レニングラード、ミンスク、キエフ、ハイコク及ロフトフ各地兵營にもこの餘波が及び逮捕された者は銃殺されるか又は軍法會議にかけられてゐる、被告數が多いため軍法會議は無期限開廷となつてゐる有樣である

鐵路愛護村へ 麥扱機貸與

ビールシーズンに入り消費量は日を逐つて增加してゐるがビールの輸送上絶對に必要な麥稈卷や箱詰の際の塡充用麥稈枕は現在主として日本內地から輸入し、奉天だけでも年額一千萬個に達してゐるので今度奉天鐵道局では全滿最初の試みとして豐富な原料と努力を有する愛護村の農閑期利用と老幼婦女の副業として麥酒瓶の卷を作らせることゝなり、社線沿線中最も大麥栽培の盛んな遼陽地方の農家へ足踏式稈麥扱機二人用卅台を收穫期の六月十五日頃迄に送附し無償貸與することゝなつた從來滿人農家の大麥調整法は石製のローラーを使用したゝめ麥稈は全部紛碎され、燃料或は肥料用以外に用途なかつたのが麥扱機使用により作業率が增進するばかりでなく副業による收入で生活に餘裕が生ずる一石二鳥の名案である

商況欄 十七日後場

●奉天株式

	寄付	(短期)大引
滿取新	一三一、七〇	一三一、四〇
東新	—	—
大業新	八四、二〇	—
滿新	八三、八〇	八三、八〇
同產	六七、一〇	—
日鐵	—	—
五品	五九、一〇	—
滿新	—	—
同紡	三五六、五〇	—
鐘甲	—	—
日書	—	—
電郵	—	—
新業	—	—
電化學	—	—

●大連株式

	寄付	(短期)大引
五品	一五、五〇	—
東新	一五、四〇	—
滿業	八三、三〇	—
鐘紡	一三五、三〇	—
滿鐵	六八、八〇	—
同新	七七、四〇	—
土木	一三、四〇	—
豆新	一七、〇〇	—
同新	六八、七〇	—

手形交換高 十六日 二八二枚 一六八七、一三〇 五一七

北支蒙疆地區を行く (22)

北支資源の王座 大同炭礦の全貌

特派員 宇田淺次記

埋藏量

今石炭の比重を一、三（石炭六尺立方の重量を八噸とす）として炭層の厚さは採炭部の厚さを示し炭層賦存面積は留採掘區域を除外し炭層の傾斜角は一般に緩かであるから之を考慮せざることゝし本炭田の炭量を概算すれば次の如くなる

炭層の厚さ　炭層賦存面積（平方粁）　炭量（噸）
第一層（三尺）
第二層（十尺）
第三層（三尺）　十八尺　三〇〇、〇〇〇　三四四、〇〇〇、〇〇〇
第四層（五尺）
第五層（二尺）　六九八、六〇〇　四、三四〇、七八〇、五〇〇
第六層（六尺）　十一尺　一、六三〇、三三〇　七、一三一、六二三、九二〇
第七層（四尺）
總炭量　一一、七九六、四四九、四四五

即ち本炭田に於ける炭層賦存面積は邦里十里餘平方に相當し其の埋藏量は百十七億八千六百餘萬噸である。假りに採炭率六〇％と見てもなほ實收炭七十億七千百餘萬噸となり假りに一ヶ年三千萬噸を出炭すれば二百三十年の壽命がある勘定である。

大同炭田の生產能力

本炭田は今より約七十年前の開發にかゝるものであるが運炭能力貧弱なりしため一般に炭礦業は不振を極め小炭坑多くして近代的設備を有するもの僅かに二三鑛に止まり昭和九年度年產額六二萬噸に過ぎなかつた、實例に徵するに撫順炭鑛は其の埋藏炭量七億五千萬噸に對して其の一、三三％に當る一千萬噸を出炭してゐるがこれは特殊なる例であつて之を以つて他の炭田の出炭を推すことは出來ない。北海道は埋藏炭量約八十億噸に對しその〇・一三％に當る一千萬噸を年出炭量六〇億噸に對して年產二千四百萬噸（〇・四％）を出炭してゐる以上の例に徵し大同炭田が埋藏炭量百二十億噸を有し惠まれたる天然條件を具へたるを考慮すれば年產三千萬噸（〇・二五％）は頗る容易なものと云ひ得られる、炭田の東南方に展開する大同平原は雄大にして三千萬噸の石炭を處理すべき大輸送設備建設に對して充分なる廣さを有すべく又本炭田を横斷して大同平野に通ずる數條の横谷は本炭田攻擊路として適當なる位置にあり年產三千萬噸を採掘搬出するに好適であると觀察される

大同炭の天然條件

本炭田の炭層は地質的變動をうくること甚だ少く斷層皺曲稀にして天盤の岩石甚だ堅硬而して炭層の厚さは一米乃至三米といふ稼行に適當なる厚さを有し夾石け殆んど無い露頭（大同平原北西邊緣の山脈に露出す）附近では傾斜三十度前後であるが一般に三度乃至六度の緩傾斜を有する。坑內湧水少く爆發ガスの存在亦極めて稀である本炭田は斯くの如く最も惠まれたる天然條件を有し北米合衆國ペンシルヴァニア州附近の大瀝青炭田に酷似してゐる、而も炭層が地下淺く（深くとも大同平野水準面以下四百米の豫想）數枚の炭層が適當なる距離を距てゝ存在し粘結炭不粘結炭併存し且つ爆發ガスの發生を殆んど認めないと云ふに於ては彼に優る好條件であると言はねばならぬ。

大同炭田の開發計畫骨子

大同炭田は前述門倉三能氏の調査に依つて其大體は判明してゐるが併し具體的の開發計畫を樹てるだけの資料は整つてゐない。之を行ふには先づ飛行機寫眞測量を作製し門倉氏の地質調査を參考とし更に新しく開鑛區域の地質を調査し竪坑の位置の諸設備の配置を決定すべきである。今玆に一つの机上計畫として大同炭田開鑛の骨子となるべき事項を記述すると略次の如きものとなる。

（イ）炭層七枚のうち先づ第二第四第六及第七層を採掘の目的とし其の總体の厚さを內輪に見て七米とす。一粁平方の間に九、一〇〇、〇〇〇キロトンの埋藏炭量あり實採炭率六五％と見て一粁平方より六、〇〇〇、〇〇〇キロトンが得られる一日出炭能力一〇、〇〇〇キロトン一ヶ年三、〇〇〇、〇〇〇キロトンの竪坑設備を以つて五十ヶ年の採炭壽命がある如く計畫するには二五平方粁の地域を必要とする、即ち五粁每に大竪坑を開鑛施設するに適當である。從て一ヶ年輸出炭一〇、〇〇〇、〇〇〇キロトン地賣炭一、〇〇〇、〇〇〇キロトン合計一一、〇〇〇、〇〇〇キロトンを生產するには此の竪坑四本三〇、〇〇〇、〇〇〇キロトンを出炭するには餘裕を見込んで一二本程の竪坑設備を必要とする。

（ロ）一ヶ或は一對の竪坑一日生產能力一〇、〇〇〇噸は近代世界的の標準であつて米國及獨逸の新坑は皆此の標準によつてゐる撫順炭坑龍鳳竪坑は東洋に於ける唯一の實例である、此の大規模の竪坑をケージにするかスキップを採用するかは研究問題であるがいづれを採るも大差異のあるものでない。炭鑛用の軌道は一米軌間を用ふべく炭車は米國流に三キロトン內外の容量とすべきものであらう。

（ハ）炭礦用動力は頭初から總て電氣となすべきものである。此のことは單に能率經濟に好都合なるのみならず同地方の水質は甚しき硬水で高級汽罐には蒸餾水を用ふる必要があると考へられるためである

（ニ）同地方は坑木の調達に相當困難を感ずるものと考へられる。幸に炭層の天磐頗る堅緻で採炭樣式が適當であれば僅少の坑木消費で濟むであらう。又炭層の天然狀態が良好であるから截炭機切羽運搬機の使用によつて全就業人員一日一人當一、五キロトン位の能率は敢へて困難であるまいと考へられる。

（ホ）選炭は炭層純潔なるために手選程度以上の精密は不必要であると思はれる。唯だ無暗に大きな塊炭を產し且つ之が頗る堅緻なる事は內地供給炭として寧ろ不都合を感ぜられる選炭場に於て適當なる機械裝置により粉炭を多く生ぜざるやう二〇糎角以下に破碎する必要があらう。

（へ）各竪坑より鐵道の集配ヤード迄の鐵道運搬は撫順炭礦の如く電氣機關車によりて炭礦自體を行ふを便とする。

上記要點以上の具體計畫は今日未だ之を明言し得るだけの調査資料が出來てゐないのは遺憾である一日一萬キロトンの竪坑の机上計畫は進行中である。一ヶ年一〇、〇〇〇、〇〇〇キロトン生產の炭礦設備資金が幾何を要するかは重大問題である、これは大同炭田の測量其の他の調査を完成し、具體的計畫を樹てた上でなければ明言出來難いが、大約の見當を付けて見るに、內地炭礦の開發は從來一ヶ年出炭一萬キロトン當十五圓と言ふのが通り相場であつた。それが最近の物價勞銀の騰貴により十八圓見當となるとは五ヶ年計畫申容委員の言ふところである。滿洲炭礦會社の投資見込みも大體十五圓見當であると聞いてゐる。それに對して大同炭田は位置の遠隔なるを考慮に置くも、なほ其の天然狀態優良なると總て大量生產計畫を以つてするために投資は等しく低價で先づ一ヶ年出炭一キロトン當十圓と見て誤りないものと考へる。此の外に中央の集配ヤード迄連絡する電氣鐵道の施設を撫順炭礦の實例に從ひ一キロトン當〇、八〇圓と見込めば充分であらう。

大同炭田開鑛施設費

輸出炭一〇、〇〇〇、〇〇〇キロトン地賣炭一、〇〇〇、〇〇〇キロトン、合計一一、〇〇〇、〇〇〇キロトンの出炭に對し一一〇、〇〇〇、〇〇〇圓
其他構內電氣鐵道施設費八、八〇〇、〇〇〇圓計一一八、八〇〇、〇〇〇圓

運炭鐵道及輸出港

（イ）概論　大同炭を可成早く可成多く內地に供給せんとするに對し其の鍵を握るものは港灣である。炭礦の竪坑設備一切は深坑に於ても五ヶ年間を以て完成するが通則であるから天然狀態良好なる大同炭田に於ては一日一萬キロトン竪坑、四本を同時に着手すれば五ヶ年間に所定の生產能力に到達せしむることは難事でない。大同、渤海間の運炭鐵道も此の內最も時日を要する康莊—懷柔間の鐵道が約二ヶ年半を以つて完成出來る筈であるから其の他の部分を適宜鹽梅すれば三—四ヶ年に於て完成する事も容易である。只港灣に至りては滿鐵の埠頭專門家が選ぶ最も完成の早い大淸河を築港するとしても一ヶ年一千萬キロトンを取扱ふに必要なる施設は滿五ヶ年間を要し六ヶ年目に始めて此の能力を出し得るものとせられてゐる。內地の石炭需要は大淸河の築港を待つわけに行かない。又大同炭礦としても六年目に突如として一〇、〇〇〇、〇〇〇キロトンを生產することは出來ない、其處で一方內地需要の一部に應じ炭礦を漸次擴充するために太沽に臨時埠頭を築造し秦皇島の一部を强制使用し更に壺盧島をも利用するとしてこれを全部大同炭の輸出に充てるとすれば

昭和十三年度二、〇〇〇、〇〇〇キロトン　同十四年度三、〇〇〇、〇〇〇キロトン　同十五年度三、〇〇〇、〇〇〇キロトン　同十六年度七、五〇〇、〇〇〇キロトン　同十七年度九、〇〇〇、〇〇〇キロトン　同十八年度一〇、〇〇〇、〇〇〇キロトンといふ見當となる。

次に此の數字に合致せしむるために鐵道輸送の方で既設線の改良を行ひ又普通の輸轉機材を增備して大同炭の輸送に充て專用運炭線が完成し大型の炭車機關車が配備された曉には此の臨時の輸轉機材を他に轉用するといふ順序に行ふべきである。

如斯大同炭田の開發輸送には港灣のやりくり鐵道輸轉機材の利用轉換を行はざるべからざる事情にある所を以て見るも本事業の遂行達成は普通以上に鐵道及炭礦の完全なる連繫を必要とすることが理解出來るわけである。

（ロ）既設線改良に新線建設　昭和十八年度輸出向石炭一〇〇〇萬キロトン地賣石炭一〇〇萬キロトン、龍煙鐵鑛一〇〇萬キロトンの雜貨一〇〇萬キロトン今計一、二〇〇萬キロトンの輸送力を目標とし北寧線及京綏線の改良を主體とし併せて新線建設を計畫すれば次の如くなる【寫眞は炭礦事務所】

曹城入城に絡る兄弟勇士の美談

負傷した弟の銃とつて立つ

【曹州十六日發國通】曹州攻擊戰に重大任務を果し最後に不幸敵彈に殪れた栃木縣宇都宮市出身の矢口淸騎兵伍長の壯烈な行動と、實兄矢口義之騎兵上等兵との美しい兄弟愛物語りが〇〇部隊陣中美談として語られてゐる、矢口兄弟は昨年夏同時に應召し、しかも川崎部隊に仲良く騎兵上等兵として各地に活躍してゐたが去る十四日夜わが軍の曹州進擊に際し重大任務を命ぜられた淸伍長は勇躍して敵前三キロの地點まで單騎で潛行、完全に任務を果して本部に歸る途中敵彈を受け落馬した然し氣丈な伍長は出血する傷口を押へ麥畠の中を匍ひ乍ら本部に辿りついたが、丁度この時義之上等兵は弟の負傷を聞きかけつけ陣中で兄自ら末期の水を與へ兄弟固く手を握り「安心せよ仇はきつと俺がとつてやる、俺が持つてゐた銃は必要がないから淸お前の銃をもつてどこ迄も前進する」と云ひ終るや淸伍長は「天皇陛下萬歲」を叫んで名譽の戰死をとげた、翌十五日曹州入城に際しては兄義之上等兵が弟の遺骨を首に下げて兄弟二人悲壯な入城をした

軍に投降した捕虜の手記

漸く人ごゝち

【〇〇十六日發國通】濛城、永城、南平鎭と征くところ敵なき皇軍の武威の前に捕虜となり或は投降する支那軍將兵は夥しい數に上つてゐるが、何れもわが軍によつて溫い食を惠まれ前線から送致されて捕虜收容所に續々送られてゐるが、彼等は初めて人ごゝちがついたやうにそして溫い皇軍の待遇に淚を流して感激してゐる、以下は彼等の手記の斷片である

動員された彼等は大抵漢口から數百キロの行軍をやつて來たものである、その行軍も日中は日軍飛行機の眼をくらますため動かず夜行軍のみを續けて來た、そのため徐州に來た時には從軍の醫師は落伍してゐる狀態であつた、行軍中通過する部落の殆どで强奪掠奪を行つて來た有樣である、彼等の月給は左の如く

	月給	事變後
大將	八〇〇元	二四〇元
中將	六〇〇	二〇〇
少將	四〇〇	一六〇
大佐	二四〇	一二〇
中佐	一七〇	一〇〇
少佐	一三〇	八〇
大尉	八〇	五〇
中尉	六〇	四〇
少尉	四〇	三〇
准尉	四〇	二四
曹長	二〇	一五
軍曹	一五	一二
伍長	一四	一一
上等兵	一二	八、五
一等兵	一一	八
二等兵	一〇	七、五

となり兵はその中食費として五元を差引かれてゐるが隴海津浦作戰軍には本年一月只一回月給が渡つたきりであとは全然支給なくこのため兵卒は非常に困窮してゐる

フォードの塗裝に關し

フォード車輛のエナメル塗裝金屬に關して世界各地からフォード自動車會社技術部へ達した情報を綜合するに同技術部に於て人造樹脂及び大豆油から製造することに成功した自動車塗料の耐久力が著しく勝れてゐることを皆裏書してゐる。フォード會社ではフォード車輛其他の塗裝仕上げを嚴密に試驗するためケルン、ストラスブルグ、ダゲンハム、パラ等を始め二十數箇所に於て絶えず試驗用金屬を全く堪へ切れぬ程の炎天下でも曝して置くのである。「塗裝仕上げの研究に於ては實際に屋外に露出してゐて得る耐久力の成績は他の如何なる證明よりも高い價値を持つのである。當技術研究所の外各地のフォード分工場に於ては多種多樣な試驗が絶えず行はれてゐるが當社ではデス・バレー（死の谿谷）の如き地方に於ても亦試驗して見た、併し自動車塗裝仕上げは同地方の酷熱もフロリダ又は運河地域の一部のやうな熱度と濕度を交へた程烈しくなかつた。又蒸されるやうなアマゾン・バレー地方も極めて惡かつた。フロリダ或は運河地域の試驗によれば液體ボデーポリッシを用ひさへすれば曇つた仕上げが回復する程度で二箇年の耐久力があると考へられる。以上でフォード車輛の勝れた外觀美は四年も五年も永く持續する事が判明するであらう。斯樣な標準が新製品の聲名を昂める迄には相當の時日を要すべきであるが、美觀を維持することの短い原料は自然に淘汰される。各地フォード所有者からの報情は當技術研究所又は炎天曝し試驗の齎した好結果と合致してゐる。人造樹脂エナメルは自動車塗料として今日迄使用されて來た如何なる原料にも涉ると云ふ事が出來る。そして其原光澤を永年保ち普通の手入を怠らずに居れば車輛の壽命のある限りは持久することが出來ると一フォード技術員は語つた

讀者の頁

投稿歡迎　中斷不可

新京の初印象（下）

（6）街の警察官、街に制服の警察官の姿を見ないのは如何にも平穩な氣分があつてよろしい、たが裏通りあたりにはもう少し警察官の姿を見れば不安がなく、力强い派出所に行つてもう少し日系官吏か日語の解る滿系官吏が欲しい

（7）不良馬車、人力車夫の横行は街の者にとつて一番不安である、數は多い丈取締を嚴重にして貰ひ不良者はどしどし淘汰して欲しい時に僅かな金錢問題で若い婦女がオシコクラレ苦しめられてゐるのが見える

（8）カフエー、料理店飲食店等多いのも帝都であり過渡期であるので止むを得ないが隨分よい加減のを出してペラ棒にとるのがある、チツプも無茶に要求するのがある、そんなの足を入れないに越したことはないが躍進新京の評判にもかゝる業者も注意して欲しい

（9）不良商人、街の商人中には相手次第で非常に暴利を貪るのがある、反對に却て信用本位で實直にやる店もある、惡貨は良貨を驅逐する變則もある如く心得違ひの店ははびこり易いものだチト心得違ひの店は大新京の將來の爲めに心得て貰ひ度い（晩見生）

明暗

出生

▽入船町二丁目二十一ノ二日森卓藏氏次男寛君（四月二十一日）
▽東二條通三九番地渡井正夫氏長男滿君（四月十六日）
▽曙町四丁目一番地中西義助氏長女條子さん（四月十三日）
▽芙蓉町一ノ一陸軍官舍二十七白鳥盛氏五男英伍君（四月二十三日）
▽白菊町二丁目三番地七ノ四原一芳氏四男信康君（四月五日）
▽祝町二丁目九番地吉野アパート二號岩本益吉氏長男邦彥君（四月十日）
▽曙町三丁目十八番地田口正雄氏滿喜子さん（四月三日）
▽三笠町一丁目十六番地ノ四富田恒氏長男恒太郎君（三月二十七日）
▽錦町四丁目一番地長枝吉當氏五女禮子さん（三月二十八日）
▽桔梗町二ノ一池下和四郎氏長男康緒君（三月卅一日）
▽考松町十八番地松龍ビル二六勝村得氏芳子さん（四月二十三日）

家庭

"さて・君は何を選ぶや" 懷しき春衣への憧れ
刺繡による新型を紹介

春の陽光も頓に明るさを增して着馴れた着物に全く鬱陶しさを覺える頃、新鮮な春衣への感觸が懷しまれますが、さて貴女はどういふ春衣をお選びになりますか……

生地 ならウヰルから薄いミルク類へ模樣ならチエックの無地物からプリントへと移るのが多から春への季節の飛躍とはお感じになりませんか、流行の本場パリでも輕快なプリントの出現が豫報されて、色彩豐かな草花や幾何學模樣や奇拔なところでフイルム、桶、人、新しくは工場、時計機械類迄印刷したプリント物が續々現れるとの事です。しかも最近プリントは從來のやうにたゞ同じ間隔を置いた型押しでは滿足されず、全體の構圖を考へて特に或部分を强調するやうに肩とか腰、裾とか好みの場所に

模樣 を集中し、又は遠くぼかす等丁度日本のキモノの繪羽模樣と軌を一にしたものがよく見受けられるやうになつたのも面白い現象でせう。普通のプリントが着尺物ならこれは繪羽衣裳とも云ひ得ませうか。つまり生地のまゝ標準尺に依つて模樣を布の上に適當に置いて染めるのですが、殘念乍らまだ日本には輸入もされず、造られてゐません。然し手間のかゝる染にまつ迄もなく最も自由に好きな模樣を作るには刺繡に依るのが捷徑です、そこでこのプリントの味をねらつて刺繡で同じ

効果 を出した洋服を紹介しませう、これは人絹交織の新しい黑の生地に白のフランス刺繡糸で模樣を刺したものです。その作り方は先づドレスを兩脇だけ縫はずにあとは全部作り上げて置いて、地に白鉛筆で下繪を描き、刺繡用の小さい枠を用ひて地を張り、洋裁用のしつけ糸でザッと先づ簡單に刺し、其上をフランス刺繡糸で橫又は縱にたゞ糸を並べるやうに刺します。素人の方がなさる方が模樣に大小不揃のところが出來て却て面白い味が出ます、糸は約十八束位は要ります。出來上ればアフタヌーンは勿論少し裾を長くすれば夜の着物にも差支へありません。たゞ着る前に新しいまま防水に出しますと、布の生地がつみ、糸のボケ／＼がすつかり治りますから、いつまでも綺麗に着られます。

品味を傷めぬ冬物の洗張り
お奬めしたい手伸張り

仕舞ひ込む冬物の洗張りは余り光線の強くない今の中にしておく方が色が褪せなくてよいのです。洗張りもお召、錦紗の樣なものになると素人では品あぢを害ねる虞れがあるのでお勸め出來ませんがそれ以下の絹物、又は木綿物の場合を申しますと

―洗濯― 石鹸は普通の石鹸液で結構ですが、絹物は決して揉み洗ひをせぬ樣、板を使ふなら必ず平な板で、なるべく使ひ古した柔い刷毛を用ひて下さい。

―洗張― 次に洗張りですが、最近の織物はヨリを強くかけた物が多いため、板張りにすると兎角布が縮まり易いといつて伸子張りでは伸子のかゝつた所だけ耳が出ッ張つた樣になつて、つまり勝なものですから其懸念のない『伸子張りを加味した手伸し張り』に就いて申しますと先づ布を元の反物の形に繼ぎ合せて其れを約半分位に分け、其各兩端に張り手へつける爲の他の布を縫ひ足し之に張り手を通して伸子張りの時の樣に着物の裏になる側を上向けにして張つて、布の繼目の所にだけ所々伸子をかけますそして糊は絹物ならふのり木綿ならふのりにしやうふ糊を加へるか又は姫糊にしこの糊を適當に溶かした液を刷毛で、先づ最初今度裏にする方へ引いたら、別に糊は含ませずに同じ刷毛で表にする方へ撫つて布に糊をなじませたら伸子の代りに兩手で全體の巾を攄げてその儘乾しますこれでよいのですが丁寧にするなら後を湯熨斗よげすれば申分ありません。

連載漫畫 かさ屋のやんチャン 西ひさし

姿態美をつくる 肥り過ぎ療法
根氣よく試してご覽

全身が肥るのは脂肪が皮下筋肉間に蓄積されるからですが其他に同時に水分が蓄積される事を念頭において頂きたい其原因としては體質の遺傳、睡巢、胃腸の調子、諸種內科的疾患の後の變化等が考へられます。

△治療法△ としては病氣があれば先づ其れを治療する其後に食餌療法を行ひます、此食餌療法を全般的にいへば今日の榮養食と反對にカロリーの少く消化の惡い物をたべるといふ事です其爲にカロリーは一日各人最低必要量の以下に墮る、即ち初めは五分の四、次は四分の三、體がなれて來たらば三分の一、後には二分の一位まで減ずる、殊に肉類を減ずるのがよろしい、同時に水分と食鹽の量をへらす、食餌療法について發汗療法が行はれる此方法としては熱目の湯に長時間毎日入浴する、それには

△蒸風呂△ の方が効果が多い、出來れば熱氣浴が理想的です、注意としては入浴後のどが渴いてもレモンの汁、梅干の樣な酸味の物と少量の熱湯をのむ位にして水を多量にのんではならない、次は運動です、自働的には體操、散歩をする閑暇のない又廣い庭のない人でも心掛一つでは一坪の台所でも適當な運動は出來るものです又他働的に筋肉を動かす、例へば電氣振動マッサージ機、獨り按摩の器械、何もなければ自分の手で摑んだり、動かしたりする、つぎは

△瘦せ藥△ による方法であります、昔からあるものは下劑、利尿劑が主でありました、それも確に効果がありますが、新しくはホルモンの研究が進んで來て甲狀腺、腦下垂体、前葉、後葉、胚胎腺等のホルモン等を配合したよい藥が出來てゐて危險なく、二、三貫は瘦せる事が出來ます、但し注意を要する事は脂肪が先に脫ける體質の人は其爲にやつれてふけて見えますので美容上には困る事があります、それは藥の良否ではなく、其人の體の如何によるのでありますからやむを得ません、以上の方法は一つだけやつても駄目です、總てを行はなければ効果は少い、又急に瘦せようとせずに根氣よく少しづつ瘦せる樣にしないと永續きは致しません。

健康相談

五歳の男兒 扁桃腺手術の可否を

（問）五才の男兒始終風邪ばかり引いて扁桃腺も腫脹して居ります、人の話では扁桃腺を切れば風も引かなくなると云はれますが五才位で切つても良いものでせうか（惠美子）

（答）扁桃腺肥大を有する小兒で始終風ばかり引くのは扁桃腺の剔出を試みるべきと思ひます、然し五才では幼少すぎると思ひます。肥大の程度にもよりますので一應耳鼻科の先生に診察を受けて御覽なさい（回答者滿鐵醫院小兒科醫長醫學博士田中貢）

近頃、乳兒の着衣程度は

（問）昨今の氣候で乳兒の衣服は何枚位着せたら適當でせうか（市內繁子）

（答）昨今の氣候と云つても毎日必ずしも一定しませんから室溫（幼兒の部屋には必ず寒暖計をかけて下さい）に注意し又蒲團を着て寢て居る時と起きて居る時とでは大いに違ひますから常識を働かせ良く氣をつけて下さい今迄の習慣もありますから急激なる變化はいけませんが一體に厚着をしない習慣をつける樣に心掛けて下さい湯たんぽや火鉢や色々の暖房裝置で幼兒の身邊を溫め過ぎることは有害無益な事です（回答者滿鐵醫院小兒科醫長醫學博士田中貢）

季節の暴君
夏の傳染病驅逐に 蠅退治を勵行！
三段構への豫防法

蠅は傳染病菌を運搬する飛行機みたいなものである。試みに赤痢病舍に飛んでゐる蠅を捕へて調べてみたところ、腸の中に赤痢菌をもつてゐるもの四三％に及んでゐた。また一匹の蠅が携帶してゐる細菌の數は少くて五百個、多いのになると六百萬に及んでゐるといはれてゐる。これが一哩內外の飛翔力をもつてとびまはるのであるから危險この上もないわけだ。そろ／＼暑くなつてくると、この病菌保有蠅が食物から食物へ危いハイキングをはじめる。サテ、蠅はどうしたら防ぐことができるか。蠅の防ぎかた、これには三段構への戰法が勵行されねばならない。第一に蠅の發生を防ぐこと、第二に蠅を家に入れぬこと、第三に侵入した蠅を直に捕殺することである。まづ第一の

（殺蛆）の方法としては便所や塵箱に消毒劑を撒布したり、內部を密閉して蛆の發生を防ぐことが最も必要である。殺蛆劑として最も有効なのは石油である。便壺に撒布する石油の量は普通一合又は一合五勺でよい。これを水一升ぐらゐに浮かして強く振盪し直に撒布する。撒く際はなるべく壺の周圍部に多く撒いた方が効果的である。

（第二）の蠅を防ぐ方法としては一般に蠅帳（蠅いらず）を用ひてゐるが、これは防蠅のために最も必要である。たゞし蠅帳や埃で不潔になり易いから時々洗ふことが肝要だ。また家に蠅が侵入するのを防ぐために、暗いところを嫌ふ蠅の習性を逆用して考案された諸種の防蠅器（網戸や簾）を備へることもよい。料理業者や團體炊事場にはかうした設備を是非設置してほしいものである。

（第三）の捕蠅及び殺蠅としてはこれまで色々の方法が行はれてゐる。蠅叩きなどは最も簡便な道具であるから夏のお台所に是非一つ備へておかなければならぬ。また蠅取器にはゼンマイ仕掛けのもの、ガラス製のもの、金網製のものなどあるが能率をあげるには、その仕掛けに用ひる蠅の餌に少量の酒または酢を加へると大變効果がある。これは蠅は醋酸エステルの臭ひを好むためだ相である。その他に蠅取紙や除虫菊の撒布、蠅取粉など有効な方法である。朝早く蠅がまだ食物に取りつかぬうちに除虫菊の粉を台所その他家の中に撒布しておくと蠅はこれをなめて數分間もすると痲痺してたふれる、この時これが生き返らないうちに掃きよせて焼き捨てるとよい。

辛味と甘味の化學
東大農學部教授農學博士 鈴木文助（下）

前述の如く、辛いものゝ代表は鹽だが、すつぱいものは酸である、水にとけて乖離して水素イオンを出すものがすつぱいのである。錯酸がすつぱいのは水にとけて水素イオンが出るためである、從つて水素イオンを出すものは必ずすつぱい、それでは酸は皆すつぱいかといふと必ずしもさうでない、兎に角すつぱいだけは水素イオンに統一されてゐる。

次に甘い味であるが同じ甘い味にもいろ／＼種類があつて、化學的には統一されてゐないが、極く自然には砂糖の味と考へてよい。しかしこれにも種々の種類がありそれにしたがつて甘さも違つてゐる砂糖の甘さを百として果糖百七十三、轉化糖百三十、葡萄糖七十四、キシローズ四十、麥芽糖三十二、乳糖十六といふことになる。

蔗糖は普通用ひる砂糖のことであり、果糖は果物のあまさの主成分であり、葡萄糖は葡萄のあまさの主成分であり轉化糖といふのは果糖と葡萄糖の結びついたものであり、蜜蜂の蜜はこれが主成分である。またキシローズといふのは稻藁からつた甘味であり、麥芽糖は昔の水飴である。

この鑑定法は薄めてあまく感ずるか、感じないかの境とつたもので、前述の數字はこのうすめた割合である、從つてこの數字は正確とはいへない。

一般にあまさを增すには蔗糖を使ふが世界中には轉化糖を使ふところも少くない、例へば北米などでは楓の木の汁を煮つめ、これから一種の砂糖をとつてゐる、楓糖といつてべたべたしてゐるが、これも轉化糖の類で、少し青くさいところがあるが、北米では朝晩のホットケーキはこれに限るといはれてゐる。熱帶地方へ行くと、砂糖椰子からとつてゐるところもあるがこれも同じである。

またアメリカには芦の粟といふ植物からとつてゐるものもある、これもまた同じである

蔗糖は砂糖キビと砂糖大根とからとつてゐるが、大戰後は大根がおとろへてしまつたので、今日ではキビが主材料となつてゐる。

これは化學的にはどちらも同じである。しかし西洋人にいはせると、コーヒーにはどうしても砂糖大根からとつた砂糖でないといかぬといつてゐる、純粹のものではどつちとも區別出來ないが大根からとつたものには、大根のよい匂ひが殘つてゐる、これがコーヒーと調和してよくなるらし。

このほか甘いものでは、漢藥で使用するカンゾウがある、滿洲や蒙古地方にはこれが野生してゐて、土地の人の利用にまかせてゐるが、これは大變複雜な物質で、加水分解すると砂糖にたものがとれるが、しかし砂糖とはまるでちがつた構造のものである。

次に甘茶だが、これは砂糖とはまつたく關係がない、鉛糖も少しあまいが、これは劇藥である、サッカリンは砂糖の何倍かあまいといはれるが、これも全く違つた物質である

なほシソの葉には有毒ではあるが、いゝ香氣を出す物質があつてこれに他の物質が加はると非常に甘い、普通の砂糖はムシ齒にはたいへん惡いが、これはその毒成分が淸毒に役立つらしく、ムシ齒によいといはれてゐる。

これから夏に向つて、このシソの實を刺身のツマにつけるが、これは蕁麻疹を防ぐにいゝといふことである、生の實のないときは梅酢でつけたシソを匙に二杯位つけるといゝそうである。

こゝで一寸刺身の話のついでゝいふが、刺身には一般にワサビをつける、これは辛味だが、これに防腐劑的の效果がありはしないかと調べてみたことがあるが、ワサビの防腐力は、それほどでもないやうである。

更に蛋白質の分解物にもあまみのものがあるが、これは別にシソのやうな有毒物質ではない、このやうに、同じ甘味でも非常に澤山の種類があつて、それぞれみな違つてゐるものである。

飲殘りビールの一利用法一

もうそろそろ日本酒よりもビールが歡迎される季節になつて來ました。來客などで口を開けたビールが澤山殘つてしまつた時は、捨てるのも惜しいし、と言つて保存も出來ず困るものですが、之の利用法をお教へしませう

1、ビールで洗濯すると、驚くほどきれいになります
2、檜材の器具は、ビールをあたゝめて洗ふと色艶がみちがへるやうにきれいになります
3、糠味噌の味をよくします
4、化粧水の代りにつけると白粉のノリをよくします

厚い切身の魚 上手な焼方

切身の魚も身の厚いものは表面をひどく焦さずしかも中までよく火が通るやうに上手に焼くのはなかなか難かしいものです、その場合には、金串にさした切身の兩端に近く金串の上によく熾つた炭火を一つづゝのせて焼いてごらんなさい、端のはうも平均に火が通つてこんがり美味く焼けます

トーストパンの焼き方

トーストブレッドはかりつとして、ふうわりと、そして色もきつね色程度なのが上等ですが、この樣に上手に焼きますには、先づパンを切つて三十分位おいて水分を幾らか拔いてから弱い火で氣ながく焼きます。いそいではなかなか上手に焼けません。又このパンにバターを塗る時はバターを小井に入れて湯煎でとかして、刷毛で塗ると平らにつきます。

けふの番組
M・T・C・Y 新京放送局 十八日（水曜日）

朝
六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇初等滿洲語講座（大連）秩父固太郎
七、一五朝の音樂（大連）
八、二〇氣象通報
八、二五建國體操（東京）
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（哈爾濱）
一〇、〇〇家庭講座（哈爾濱）疫病の豫防と手當 梅宮三郎
一〇、二五料理獻立（哈爾濱）
一〇、三五家庭メモ（哈爾濱）
一〇、四〇經濟市況

晝
一一、三五經濟市況（大連・新京）
一一、四〇經濟市況（大連）
一一、五九時報（東京）
〇、〇一娘々祭實況（大連）＝大石橋迷鎭山より中繼＝
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、五〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）氣象通報・ニュース（新京）
四、三〇大相撲夏場所實況「八日目」（東京）＝兩國々技館より中繼＝（市況・ニュースの時間には中斷す）
四、四〇經濟市況（大連・新京）
五、二〇ニュース（鮮語）

夜
六、〇〇子供の時間（大阪）物語劇 かもめ座 少年軍樂隊
六、二〇コドモの新聞（大連）少年吹奏樂團
六、二五西洋音樂講座（六）大塚淳
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇講演 電話の取扱に就て 新京中央電話局交換課長 宮川武夫
八、〇〇管絃樂（第一夜）（東京）日本放送交響樂團 指揮 大木正夫 飯田信夫
一、日本狂詩曲 第一番 大木正夫作曲
二、夏祭り 飯田信夫作曲
八、四〇箏曲（東京）鳳の花 箏 米川文子 箏高音 中部文奈津 尺八 阪野如延
八、五五義太夫（大阪）一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段 浄瑠璃 豐竹團司 三味線 豐澤小住
九、二九時報・ニュース・ニュース解說（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送（哈爾濱）
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）

新刊紹介
改造社の新雜誌「大陸」出現

かねて豫告中であつた改造社の新雜誌「大陸」は、いよ／＼その創刊號の英姿を、五月四日一齊に全國の書店々頭に現はした。新雜誌は、今日の大陸發展期の日本の現狀、國民生活にピッタリと即し、內外時局の諸問題を大衆に親しみやすく、受けいれやすく編輯されてゐる。だから內容はあるが、それかといつて從來の如き娛樂一點張りの大衆雜誌とは全然違つてゐる。この點「大陸」編輯部では寧ろ大衆雜誌と云ふより新しい國民雜誌と云ふ事を標榜してゐる創刊號には、二つの大きな特別寄稿がある。杭州灣上陸軍の指揮官たる柳川平助中將が、大楠公とフォッシュ元帥とを語つてゐるがまさに名將を語るの圖。もう一つは、明朗化の一途を辿る北支經濟界建設の大立者、建設總署長殷同氏の談話だ。ともに今までのどの雜誌の企ても實現出來なかつたプランだ。まつたく、創刊號の何の頁をひらいてみても、改造社の二十年の傳統と輝やける使命のにぢみ出てゐない頁はない。定價は五十錢を絶對に嚴守する。

學藝

小說　親分（一）

井上一郎

中國第一の大河と云はれてゐる山陰の江ノ川の河口から川沿ひに一里許り溯ると、戸數七十戸餘りの一寒村がある。昔はそれでも相當賑やかな町であつたさうだが、明治何年かの江ノ川の大氾濫のために一瞬にして全町悉く流されて了ひ、今では全く見る影もない哀れな狀態を止めてゐるに過ぎない。

世の中から忘れられて了つたやうな、此の小さな然し平和な村に、何時の頃からさう呼ばれてゐるのかが知らないが通稱『親分』と呼ばれてゐる一人の男が住んでゐる。

もう六十近い老人なのだが村の人々はみんな彼を『親分』『親分』と呼んで居る。

殆んど十五年ぶりで故郷の土を踏んだ私の耳に、それが異様に聞えたのも無理ではない。私の頭には『親分』といへばすぐ講談や何かに出てくるあの『親分』の姿が浮んでくるのだ。

しかしどう贔負目に見ても此の所謂『親分』にはそんな親分らしいところが全然見出せない。不思議に思つた私は親類の一人にその理由を訊ねてみた。

親類の者は極く簡單に、此の私の疑問を解いてくれた。

「うん、あれか？ありや別に大した意味があるんぢやない。あの親分は昔から人を呼ぶ時に誰でも彼れでも『親分』といふ癖があるんだ。それでみんなも何時の間にか乙吉つあん——親分の本名——を親分と言ふやうになつて了つたんだよ。」

もつとこみいつた深い曰くがあるものと、内心少なからず親類の答へに期待してゐた私もそれをきいて、ちよつと拍子拔けのした感じだつた。

親分の連れ合はもう大分以前に死んで了つたのだ。そしてそれからずーつと獨り身で後添ひも貰はず、今では子供も居ない淋しい日々を細々と暮してゐる。村人の話では、あれでも昔は相當な生活をしてゐて、小金も大分溜めてゐたらしいが、連れ合に死なれてから段々落ちぶれて、今では見る影もないやうになつて了つたのださうだ。昔は腕のいゝ木挽で、一時は村でも彼の右に出る者がゐなかつた位だとも話した。

この親分は何時頃からさうなつたのか、つい聽き洩らしたが、耳が兩方とも殆んどきこえない。耳の穴に口を押しつけるやうにして大きな聲で言はないとまるつきり聞えない。それに右の足が惡いのだ跛を引きながらゆつくりゆつくり歩く姿をよく見受ける。

全く村の名物男で小さな子供等迄『親分、親分』と呼んでゐる。

小さい時に村を出た私は、親分をとつくに忘れてゐたが親分は私を憶えてゐたらしく

「えらい大きうなんさつたなあ！」

と如何にも今昔の感に堪へんといつた風をしてしげしげと私を見詰めた。

親分の今の生活の資は駄菓子賣りなのだ。それも店を出してゐるといつた風のものではなく、夕方一里河下にある町迄買出しに出掛けて、翌る朝早くから、少し許りの駄菓子を大事さうに『オヒコ』（竹で編んだ容器の一種で兩肩に背負ふもの）に入れて、村のあちこちに賣りに歩くといつた体のものなのだ。

跛を引きひき太い櫻の杖をついて、とぼとぼと歩いてゐる姿は、如何にも物哀れに思はれた。

私は病後の保養といふ名目で歸つて來たのだが、自炊位しても差支へないといふ醫者の言葉だつたし、丁度いゝ事に親類の小さな家が一軒空いてゐたので、歸るとすぐ其の家を借りて自炊を始めた。

親分はいゝ鴨が來たと言はぬ許りに、よく私の家に押賣りに來た。

民族文化交流論（D）

—協和朝鮮人文化部公演に就いて—

蘇星

支那の黄河に發した儒教文明と黄海の文明が媒介した佛教文明とは朝鮮を經て日本に到達してそこでその現實的、國家的な據點を發見し「現實的國家的協同的社會生活の敎」たるの要素と能力とを獲得した。それが近代のヨーロッパ科學文明を受けてよく折衷綜合されて新しき日本國民的な文化を創り上げ、遂に朝鮮滿洲、支那に輸出せられて各地に新しい國家的協同社會を建設せしむるためのよき種苗とならうとしつゝある。

現代に於ける日本文化は決して黄河文明の單なる復活ではなくて日本といふ獨自の彫刻と風格とを取得した新しい文化である。日本の現代の文化は決して支那文化のみにまつて磨かれたものではない。東洋的綜合文化の外にも廣く西洋の凡有文化が渾然として攝取せられ而かもそれを根强い協同社會的國家文化としてのそれに仕上げたのである。だから日本の現在の儒教や佛教は云はば日本の協同社會的國家精神によつて支那の文化と西洋の文化とを渾融した文化として作り上げたものである。日本は斯くの如きものとしての日本文化を支那の新國家的協同社會文化建設の種苗として提供しようとしてゐるアジアに於ける日本の新しい文化運動によつて朝鮮にも、滿洲にも、支那にも蒙古にもよき國家的統一を與へられ農民も商人も學者も勞働者も勤勞的なすべての國民がみんなその協同生活を向上せしめられ光明のある生活を洫らしめられることになければならないのである。

斯くして滿洲に於ける日本の文化運動もその政治的躍進性に件ひそこに包含される數種の異民族の文化運動を指導し其の獨持な固有文化を發展向上させ滿洲國的な綜合文化を創造する迄あらゆる困難を通じて努力しなければならぬ文化を通じて文化的性格が持つ人間的深き理解を通じて結合融和したる組織こそあらゆる困難が來ようとも最後的に根强いものであり勝利を得るものである。

◇

斯様な意味に於て今度協和朝鮮人文化部の第一活動として移民部落に文化的な出版物を作成配布する爲に催した「音樂と舞踊の夕」こそ眞に意義を持ち得たものであつた。

文化運動も大多數の生産的な民衆生活にまで廣汎に普及しない以上その文化のよき發展も期し得られ難く消費面に華々しく動く小數の人達の裝飾品と同様な饒舌な社交的（?）話題にしかならない。

今後朝鮮人文化部の仕事があらゆる方面に於て文化による異民族間の相互理解とその固き結び付けになり此の國が持つ理想的王道文化、協和文化に迄、滿洲國に於ける朝鮮系國民の文化水準と向上とをその移民部落になす事が出來ればその目的は達し得られるのである。その意味に於て今度の公演の性質は肯定さるべきものである。

終りに今度の公演に協力して下さつた各音樂グループ大塚氏による交響樂團、青鳥會員、特に最後の美しき踊を見せてくれた富田孃や普通學校の生徒達に—文化部として感謝して筆を擱く。—八日夜

青木正兒博士著「支那近世戯曲史」への批評（一）

鄭震

まる一週間の時日を費して私はやつとこの日本文の『支那近世戯曲史』を讀み終へた。

この書は大約次のやうに編成されてゐる。全部は五篇に分れ、第一篇は「南北曲の由來」で、こゝでは先づ宋以前の戯曲發達の概略を述べ、ついで南北曲の起源と南北曲の分岐、それから元朝の中末葉までの事を書いてある。第二篇は「南戯復興期」で、これは元の中葉から始まつてゐるが、明以前の南戯については永樂大典本の戯文三種—「小孫屠」「張協狀元」「宦門子弟錯立身」を除いては、その餘はただ書名のみを列しその内容については何ら述べてゐない。本書でその内容を詳述してあるのは「琵琶記」と「拜月亭」が最初である。それからなほ現在も殘つてゐる當時作られた著名な南戯について逐一敍述してある。この篇では明代の雜劇にも言及し且つ非常に詳細である。第三篇は「崑曲の昌盛期」を書き、先づ崑曲を代表とする南曲が北曲を壓倒した原因を述べ、更に詳細にこの時期の崑曲の作家と作品について書いてゐる明の嘉靖から淸朝の乾隆までを三つの時期に分つてゐる—前期、中期、後期と——そしてこの三つの時期について、逐一その流傳せる作品につき考證を加へその梗概を述べてゐる、全書中最も精彩あるところであらう。また著者の最も得意とする部分であらう。第四篇は「崑曲から皮黄戯への推移」である、それには皮黄戯の勃興と崑曲の衰落とが詳述されてゐる。更に沒落期の崑曲と皮黄戯とを逐一列擧し、その間梗概を述べ考證を加へ、讀者にこの戯の來源を明瞭ならしめてゐる。第五篇は「餘論」である、補遺とも言へるし、斷片的に南北曲の比較を述べ、支那の劇場の構造、南戯の脚色、それから沈の南九宮十三調曲譜、蔣孝の九宮十三調二譜等について書いてゐる最後に「曲學書目提要」を以て結びとしてゐる。

我々はこの簡單な目次のみを見ても、それがいかに巨著たるかを知るのである。一異邦人が、かくも系統的な研究をなしたのは、仲々容易ではなかつたであらう。作者がまさに二十年の日月を費してこの著書を完成したといふ（自序にある）のもて思議でない

小說の外

里見弴「關西旅行」（『中央公論』五月號）

これは學生時代に關西旅行をしたその紀行文である。木下利玄、志賀直哉などが本名で出て來る。若い日の彼等の氣儘な旅行、それだけの面白さである。

小說といふには些か足りぬものがある。結末、弟が落第したといふ通知にしよげたりするところが殊更に小說的に書いてあるが、感銘は薄い。わづかに里見得意の達文と、いきいきした連中の會話の活寫で救はれてゐるやうなもの。才氣よしとすべきだが、それ以上これといふものはない。まだしも隨筆欄にでも組んだ方がいゝ感じで讀めたであらう。

このやうなものもいいが、里見にはやはりうんと構想をこらした本物の小說を書いて貰ひたいと思ふ。これはさうした小說制作の過程に一寸手すさびに書いた代物、さう思つたがいいであらう。（御垣衛士）

言ふのでもあらうか

己の路（一）

波多徹

己は己だけの路を歩け
大手を振つて堂々と歩け
己は己だけの路を歩け
極まりも無い
障害も無い
己は己だけの路を
與へられてゐるのだ

（二）

路傍に轉つた石塊にも
踏みにじられた
煙草の吹殼にも
限りない攝理を感じて
私の行く手には
煌々と光明が輝いた

（三）

微笑も
憤怒も
こんなに無用に感ぜらるゝの
は
私の行く手が
こんなにポッカリと拓かれた
故と

私の頭惱（四）

降りしきる花瓣を
踏み分けて
驅け上る
人生とは何と
華やかなことであらう
私の人生には全く
打つてつけの花道だ

（五）

私の肉體
私の環境
私は私一人であることを
高らかに認識した

放送室　流行ペン

「どうぢやね、どうぢやね」と言ふ「んぢやよ」ロッパ演ずるガラマサドン以來この言葉俄然流行す▼これを近頃特別の意味でしきりと愛用してゐるのが藤川研一、さう言ひながら彼の手は机の端をひねくつてゐるのである▼知るべし、彼のこの言葉は「麻雀をやらうぢやないか」を最も當り障りなく表現せるものの由、さてその腕前の程は……これこそ「どうかね」の方だらう

學藝消息

△板垣守正氏　協和會四平街事務長に轉任

△大坂巖氏　通遼滿洲羊毛同業會出張所に勤務「大自然の風物に接し何とも云へぬ威力に新な感激を覺えました、新京で考へたとは別な滿洲の姿も見られ興味深く周圍を眺めて居ります、出來るだけ田舍にも親しみ度いと思つて居ります」と。

△新京文話會例會　十八日午後七時より大興ビル地階で放送局命澤氏に物をきく

書架に

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△作文（第三十二輯）吉野治夫「雲子」日向伸夫「歸去來」高木恭造「彌兒」竹内正一「裸木」その他詩、隨筆等を載せてゐる（大連市秀月台九七ノ一ノ四作文發行所、二十錢）

△電業（五月號）「現場員の非常時座談會」その他電業内部の動きを報ず（新京大同大街豐樂路四〇一、電業社員會二十錢）

△發明の滿洲（五月號）吉村恂「發明と科學の力」香津良平「日本工業の發展と滿洲の地位」その他發明に關する多くの記事を盛る（新京特別市大同大街康德會館内、滿洲發明協會四十錢）

△開拓（第二卷第一號）山崎芳雄「東宮大佐と私共の研究、時報、消息等滿載（新京特別市大同大街康德會館内、滿洲拓植公社非賣品）

重藤新聯合分會長統率の下
第二陣鐵石の守
副會長も定員一名增加
本年度新役員決定
鄉軍一萬

豫備陸軍中將重藤千秋氏を新しく聯合分會長に迎へた在鄉軍人會新京聯合分會では今や全會員數一萬に及び非常時局下國防第二陣鐵石の護りも固く本年度における躍進を約束されてゐるが、十五日役員總會で審議された本年度新役員も左の如く正式決定をみて聯合分會副長を一名增員定員三名として事務の圓滑を圖ることゝした

▲聯合分會副長　井上猪三郎、岩坂本三郎、增員一名未定
▲分會長（第一）小松實（第二）宮木嘉久二（第三）加治屋武臧（第四）村田稔（第五）中島潤身（電業）前川和（電々）瀬田常男（滿炭）關辰熊（中銀）阿部晉（軍）白井三千丈
▲分會副長（第一）永井久二、奥多正幸（第二）西川灣哉、小佐野錢三（第三）西原輝男、長友光男、野村均、柳瀬直人（第四）窪津一三、本島邦男（第五）田中平、中村信行、務台睦生、西川辰夫、成島甚之助（電業）小嶺直、河本辰彌、野村欽二（電々）喜市（滿炭）高橋將武、與崎、眞鍋好雄（中銀）光安市藏、佐歌孫市（軍）松本市之助、原勝太郎、本田額一

尚重藤聯合分會長の經歷は次の如くである

明治十八年一月三十一日生▲大正七年十一月陸大卒業▲八年四月參謀本部勤務▲十一年三月歩少佐▲十二年四月北京在勤▲十三年七月廣東在勤▲十四年八月歩中佐、歩三十三聯隊附▲十五年七月參謀本部附▲昭和二年九月上海、南京駐在▲五年八月歩大佐▲七年一月歩七十六聯隊長▲九年三月第十一師團參謀長▲十年三月少將、歩第十一旅團長▲十一年十二月第五師團司令部附▲十二年八月台灣守備隊司令官▲九月支那事變從軍▲十三年一月第十師團司令部附▲三月中將、豫備役▲五月大東公司社長

てゐる建築單價の影響をうけて滿洲の土建界は今年建築期に入つても依然梗塞狀態を續け、ますます住宅難を招來してゐるが、滿洲房產株式會社ではこの住宅難が惹いては產業五ケ年計畫の遂行に伴ふ人員動員に支障を來すことを考慮し建築單價の値上りにも拘らず今年度中に既定通り一千九百戶の大衆向住宅を建築することに決定、目下建築準備中である

前記一千九百戶の建築內譯は內八百戶が新京で殘り一千一百戶は牡丹江、佳木斯錦州、海拉爾、通化、延吉等にそれぞれ建築を見る筈であり、この建築によつて多少とも全國主要都市の住宅難は緩和されるものと見られてゐる

博士でも產婆さんでも
至急屆出のこと
認可免許證書替は今月限り

日本側官廳の發給した醫師、齒科醫、看護婦、助產婦、藥劑師及衞生關係諸營業の認可證並許可證は五月末日までに書替をなすことゝなつてゐるが、期日切迫の折柄中央通署管內に於ける今日までのこれ等屆出者は助產婦七十二名の內十七名、看護婦二百二名の內五十七名、醫師九十八名の內五十名と言ふ至つて成績香しからぬ狀況で若し期限內に屆出のない場合はその許可證、認可證は無効となるため未屆出者は速かに出頭手續きするやうにと希望されてゐる

ナチス軍醫・各方面視察後
けふ"あじあ"で哈市へ

十七日午前七時來京のナチス軍醫團の一行五名は午後二時關東軍司令部に植田全權大使を訪問、來滿の挨拶をなし同二時半治安部病院、恩賜恤兵院に患者を慰問し續いて衞生技術廠を訪れ淺田博士より同廠の研究室、製藥室等に關し詳さに說明を聽きヤマトホテルに歸還、六時半より軍司令官官邸に於ける植田大使の招宴に臨んだ

なほ十八日の豫定は午前十時より南嶺の戰跡を視察後陸軍病院を慰問し正午より中央飯店に於ける于治安部大臣の招宴に臨み、午後協和會を訪問して同六時三十分發「あじあ」で哈爾濱に向ふことになつてゐる（寫眞は植田軍司令官招宴に臨める一行）

空巣專門

十六日午後九時頃市內大和通附近路上を徘徊する擧動不審の一半島人を密行中の大經路署員が發見本署に連行取調べの結果、右は朝鮮平壤府新陽里一五九住所不定無職金永柱（二四）で去月十五日午後八時大和通六一清水德太郎氏方に家人不在中侵入短靴二足時價三十圓を竊取したのを手始めに十八日富士町順天醫院で奈良漬二甕、二十二日に東一條通三二天野龍一氏方で三輪車等を竊取した尙餘罪ある見込みで嚴重取調中である

新京には八百戶
房產會社乘出す
昨年に較べて約三割方昂騰し

サイロ新設
多期飼料對策

滿洲に於ける牧畜業は未だ原始の域を脫せず多期家畜飼料保存の如きも殆んど顧みられない現狀にあるので滿洲の家畜のため飼料を貯藏するサイロを沿線各驛に新設することに決定しあたり本年は第一期計畫として必要の地に二百ケ所設けることになつた

未檢查自動車は
早く檢查のこと

首都警察廳管下の自動車檢查は二十五日間に亘つて實施去る十四日終了したが、尙市中には檢查未了の車體多數が見受けられるのでこれ等未檢查のものは來る二十三日までに首都警察廳に出頭檢查を受けられたいと、因に二十五日以後未檢查車體を發見の場合は嚴重處罰の方針である

鞍山チーム來征
十九日から四試合

鞍山製鋼所野球團の來征を迎へて國都球團との試合は次の通りで入場料は各試合とも五十錢である
十九日　對電業（開始午後四時）
二十日　對電々（同）
二十一日　對滿洲國（同三時）
二十二日　對新京俱（同）

日比對抗拳鬪戰

【名古屋國通】第三回日比對抗拳鬪戰は十五日夜名古屋市公會堂で擧行、比島代表軍は強いピッチングにものをいはせて四對一で快勝した
△フライ級　ベレリア　判定　山口（名古屋）
△バンタム級　ドロマ　判定　新見（名古屋）
△フエザー級　東（名古屋）判定　コルトバ
△ライト級　ビダカンバー　K・O一回一分四十七秒　瀬尾
△ウエルター級　カバレラー　K・O一回一分四十二秒　青山（名古屋）

レスリング
比島敗る

【大阪國通】比島レスリングチームは十六日夜YMCA體育館に於て同體育部レスリング・チームと對抗戰を擧行、結局三對一で比島チーム敗れ來朝以來四戰四敗の成績を殘した
△バンタム　菊本　判定　ブロレンド△フエザー級　ルナ　判定　多田△ライト級　松本判定　ベルナベ△ウエルター級　松田　腕固め　アラカレス

修學旅行團
シーズン正に來る
驛は轉手古舞ひ
團體申込は必ず事前に

內地修學旅行團の往來で忙がしい今日この頃お膝元新京の各學校の旅行團もぼつ〳〵動き出して新京驛では配車に大童である

十七日は白菊小學校六年生一百廿四名が午後三時四十分發、三笠小學校六年生八十二名が午後四時四十分發何れも旅順、大連への旅についた

後の申込は現在判明のものは十九日順天小學校百十名午前九時廿分發哈市へ▲廿一日室町小學校四百三十名土門嶺へ、白菊小學校四百三十名吉林へ▲六月一日新京商業二百五十名午前八時四十分發吉林方面へ▲六月八日新京中學三百名午前十時三十五分發吉林方面へで廿一日は計八百八十名でとてもの普通列車には乘込めないので臨時列車を運轉することにした程の大騷ぎである、尙市內各團體で旅行の際は申込みの遲い爲に團體往來の激しいこの頃のことゝて乘車不能となることもあるからなるべく早く驛團體係へ申込まれたいと

パーセンテージ見よ
著しい客貨輻輳
大車輪でも間に合はぬはず

滿洲ならびに北支の異常なる發展に伴ひ最近滿洲國內は勿論內鮮滿支間の旅客貨物の輸送量が著しく增加し總局ではシーズンに當り輸送對策にうれしい悲鳴をあげてゐる通量調査の結果によれば旅客の乘車率は定員（規定編成に對する）に對し最低一〇一パーセント最高一七〇パーセントといふ驚異的高率を示し客貨ともに昨年輸送數量を遙かに凌駕するの成績をあげ總局

國婦支部理事會

滿洲國防婦人會新京支部では十七日午後零時三十分日滿軍人會館で東條會長、星野新京支部長外理事、評議員五十餘名出席して理事會を開催
一、支部會則案審議の件
二、康德五年度經常費並に特別會計豫算書審議の件
の二件を滿場一致可決、續いて第一回支部評議員會を開催同案件を附議可決し同四時散會した

滿洲在住者から
速達郵便標語
獨特の創作物歡迎

郵政總局に於ては、目下速達郵便標語を懸賞募集中であるが、右につき語る
從來の標語募集は應募資格を設けられなかつたものが多かつたゝめ、その應募の半數は日本からのもので、その中には優秀な當選する作品も相當多かつたやうであるが、今回の速達郵便標語の懸賞募集は實際に滿洲の速達郵便を利用する人々に御顧ひする意味で應募資格を滿洲國に在住する者のみに限つたのであるから、滿洲國在住者はどしどし應募され、滿洲國在住者のみの手によつても從來の當選標語に何等見劣りしない斯くも立派な標語を創作し得るといふところを見せていたゞきたい、尙募集規程は次の通りであるから、規程に違反しないやう御注意ありたい

▲募集規定
一、課題　速達郵便の効用を表現したもの、本公告を見た郵政局所の揭示、郵便函の廣告、應募趣旨狀、新聞雜誌名、ラヂオ等を併記すること
二、資格　滿洲國に在住する者に限る
三、用語　滿日何れの語に依るも自由
四、用紙　郵便葉書に依り一枚一句に限る
五、賞金　一等五十圓宛（滿日語に依るもの各一名）二等二十圓宛（滿日語に依るもの各二名）三等十圓宛（滿日語に依るもの各三名）佳作薄謝（若干名）
六、締切　康德五年六月二十日
七、送付先　新京郵政總局郵務科宛、但し名宛面に「標語懸募」と朱書
八、審查　郵政總局並に滿洲航空株式會社で行ふ
九、發表　康德五年七月二十大日郵政記念日當日の政府公報に發表し賞金は當選發表の日より十日以內に郵送する
十、注意　當選作品の著作權は郵政總局並に滿洲航空株式會社に屬す、應募作品は一切返戾せず尙本募集に關する說明等の義務を負はず

貧困者のため
授產廠を設立

新京特別市勞働紹介所は昨年四月南關の特別市社會事業聯合會事務所附屬建物內に開設を見たが開設地が市の中心を離れてゐる結果一般に利用されず自由勞働者が勝手に南廣場、東廣場等に集合して雇傭主と自由契約を行つてゐる實狀に鑑み、之が對策として今回滿洲勞工協會の設立と共に之に併合することになり、兩者間で目下併合準備を急いでゐる、而して市當局では勞働紹介所に替る設備として市內の貧困者に授產技術を與へるため新京特別市授產廠を設立することに決定、試驗的授產施設として製莚機を五十臺購入、來る廿一日頃取敢へず七十名の貧困者を收容することになつてゐる

協和會宣傳科
板垣守正氏榮轉

滿洲帝國協和會中央本部宣傳科板垣守正氏はこの度四平街協和會市本部に榮轉することとなり本月末頃赴任することとなつた、氏は現在迄中央本部宣傳科に籍を置き協和會文化運動の指導者として活躍、殊に大同劇團とは深い關係があり劇作家としても相當知られてゐるが又新四平街市本部

長距離航研機
十八日羽田歸還

【木更津國通】滯空六十二時間餘輝かしい世界周廻記錄を樹立しその翼を木更津飛行場に休めてゐた帝大航研機は晴れの帝都入りの準備中十六日機體の修理を略々完了し十七日歸還の筈であつたが折惡しく天候不良のため羽田飛行場に着陸困難となり俄かに豫定を變更、十八日羽田に歸還することになつた

豪雨で
濱綏線不通

十六日夜來の豪雨のため濱綏線小嶺—平山間、玉泉—小嶺間は線路流失不通となつた、これがため牡丹江發九〇四列車は小嶺で、哈爾濱發九〇一列車は阿城でそれ〴〵立往生十八日正午までに復興の見込である

佐々木滿鐵理事
廿四五日頃來京

滿鐵十二年度決算案を打合せのため來京中の大垣經理部長は十六日歸通したのでさらに佐々木理事が廿四、五日頃來京、軍當局並に關東局に決算案の內容を說明諒解を求めた上月末東上することになつた

滴

官舍社宅街に梁上君子の横行頻々滿鐵支社濱田鐵道課長も被害者の一人▼所用先から歸つて見ると應接室にあつた什器がまんまとせしめられてゐるのに柔道六段の課長腕をまくつて憤慨したが既にあとの祭り▼おもむろに考へたすゑ日頃の用心を固めるに如くはなしと早速大連から物凄い猛犬を求めて社宅の內外を嚴重に監視させることになつた▼各の方、間違はれないやうご用心を召されい

天氣と氣溫

けふの天氣　南西の風曇小雨
きのふの氣溫　最高　一一度七　最低　六度四

東京大相撲星取表
（○は勝、●は負、分は引分、やは休み）

東方	西方
双葉山	玉錦
前田山	鏡岩
磐石	名寄岩
羽黒山	綾昇
大邱山	玉ノ海
五ッ島	兩國
幡瀬川	鯱ノ里
和歌島	海光山
楯甲	笠置山
大潮	旭川
九州山	駒ノ里
出羽湊	鶴ヶ嶺
出羽花	巴潟
小島川	安藝ノ海
富士ヶ嶽	綾錦
高登	金湊
鹿島洋	龍王山
大浪	青葉山
防長山	源氏山
綾若	桂川
番神山	筑波嶺
男女川	大和錦
	武藏山

東京夏場所
七日目勝負

（勝）		（負）
陸奥錦	（よりきり）	浪錦
讃岐國	（おしきり）	斜里
照國	（つりだし）	谷ノ音
若浪	（送りだし）	若潮
小松山	（上手投げ）	雲仙嶽
清美川	（つりだし）	白鷺
陸奥錦	（上手なげ）	四海波
陸奥洋	（肩すかし）	射水川
加古川	（下手なげ）	倭岩
富ノ山	（打ちやり）	太刀若
錦華山	（おしだし）	千葉昇
佐賀花	（よりきり）	常陽山
大八洲	（はたき込）	神武山
一渡	（おしだし）	大蛇潟
中	入	後
番神山	（つきだし）	肥州山
綾若	（よりきり）	桂川
藤ノ里	（よりきり）	源氏山
龍王山	（はたき込）	青葉山
土州山	（寄たおし）	筑波嶺
大和錦	（寄たおし）	綾錦
富士嶽	（つりだし）	防長山
鹿島洋	（よりきり）	巴潟
高登	（寄たおし）	出羽湊
駒ノ里	（おしだし）	金湊
九州山	（み所ぜめ）	大浪
大潮	（寄たおし）	出羽花
旭川	（だしなげ）	笠置山
安藝ノ海	（はたき込）	楯甲
海光山	（寄たおし）	鶴ヶ嶺
小島川	（掬ひなげ）	和歌島
幡瀬川	（打ちやり）	兩國
玉ノ海	（引おとし）	大邱山
鏡岩	（おしきり）	鯱ノ里

右四つから鏡双差しとなり寄れば鏡耐へたが鏡右を當てゝ押し切る
五ッ島（つりだし）前田山
前田の磐、氣を拔いて立つた五ッは素早く二本を差し間髮を入れず吊り上げ前田足をドタドタさせたが五ッものともせず高々と正面へ吊り出す
玉錦（不戰勝）磐石
立上るやガブリ左四つ、玉上手、下手に褌を引き猛烈に寄るのを磐左から掬ひ投げを打つて玉を脅かし忽ち寄返す、その後盛んに寄りたて玉土俵際で懸命に殘すこと三度遂に水が入る、水入後も磐二度寄りを見せたが玉殘し双方疲れて分ける、二番後に取直しを行ふことに決定したが磐石右膝の疾患再發して棄權、玉不戰勝となる
双葉山（上手なげ）綾昇
羽黒山（づぶねり）武藏山
武藏右を差せば羽黑喰下つて互に寄合ふ中左四つに渡り揉み合つて後羽黑双差しとなり正面へ鋭く寄れば武藏よく殘して寄り戾したが一呼吸入つて羽黑の試みた頭捻り見事に極る
名寄岩（よりきり）男女川
名寄素早く男女のふところに飛び込み寄り立てゝ寄り切る

八日目取組み
打出し六時三十五分

佐渡島		土佐錦
陸奥洋	谷ノ音	小松山
雲仙嶽	讃岐	清美川
若浪	國光	四海波
常陽山	陸奥錦	白鷺
陸奥錦	射水川	太刀若
一渡	富ノ山	錦華山
大八洲	千葉昇	倭岩
若潮	佐賀花	神武山
肥州山	藤ノ里	大蛇潟
	加古川	
中	入	後
桂川	番神山	源氏山
防長山	鹿島洋	土州山
金湊	綾錦	筑波嶺
大和錦	富士嶽	出羽湊
巴潟	青葉山	鶴ヶ嶺
綾若	出羽花	大浪
小島川	駒ノ里	龍王山
九州山	高登	入潮
旭川	笠置山	兩國
安藝海	幡瀬川	海光山
鯱ノ里	玉ノ海	綾昇
大邱山	五ッ島	羽黒山
羽黒山	磐石	玉錦
前田山	男女川	名寄岩
和歌島	武藏山	
双葉山	鏡岩	

義人長七郎

〔禁上演 映畫化〕 中川雨之畫 竹枝一郎助

（二百三十九）

血戰（二）

長七郎は、もう床の上に起き直り、愛刀因幡小鍛治を膝下に引つけ、寸分の油斷もありません。

突如、闇を劈く誰何の聲。

「かゝれツ！」

隊長矢野傳藏の、吼えるやうな胴間聲です。

眞ッ先に突入した一人、まさに雨戸を蹴破つて踏み込まんとした刹那。

その雨戸は、内よりサツと開かれて、燭を片手に長七郎。燈光を背後に、スツクと立ち現はれた。

「何者だ！」

凛として、威風あたりを拂ふの概があります。

ヘツとして、隊士は、タヂ／＼と尻込みする。傳藏それを掻き退けて、一歩進み出で。

「恐れながら、御首級を頂戴仕る」

「予を長七郎と知つてか？」

「如何にも……」

「推參なり下郎。長七郎、命を惜むにあらねど、將軍の御疑ひの晴れるまでは、犬死はせぬぞ」

「是非に及ばぬ、御相手を仕る。御免！」

傳藏先づ、問答無益と右手の白刄を、サツと、長七郎の腰をのぞんで、横一文字に拂つたが、

「小癪なり、狗奴！」

パツと體をかはし、敵の鍔に突き當らせ、その間一髪の猶豫も與へず、因幡小鍛治景長の名刀、空に白蛇泳ぐよと見れば、眞向から額を一擊。

だが彼もさるもの、危くその切先をかはしたが、長七郎返す刀に右側を拂へば。

「わツ」と、血煙立てゝ打倒れたのは、隙を見て、長七郎の脾腹を突かんとした隊士の一人であつた。

長七郎の振りかざす刄には、鋭い松平伊豆守に對する深い怨みが籠つてゐた。

幕府の閣老中で、最も深く長七郎を惧れ、且つ疑つてゐる者は伊豆守その人でした。

「叔父家光將軍が、予を謀叛人扱ひにするのは、畢竟伊豆守の讒訴によるものだ」とさへ、長七郎は憤つてゐる。

そこへ暗殺隊の襲來です。

その暗殺隊も、やはり伊豆守がその背後に在つて、糸を引いて居るのだから、長七郎にしては、隊士を一人でも多く斬り伏せることは伊豆守の手足をモギ取るのと同じやうな痛快さを感じるのでした。

「よしッ斬るぞ！ 腕に覺えの夢想流、因幡小鍛治の刄のつゞく限り！」

武者振ひして縁に飛び下り、跳ね飛び越えると正面が、伊達遠江守と、阿部備前守と、兩家の屋敷境。高塀に挾まれた闇の小路を一目散に驅け出した。

「ソレッ逃がすな」

隊長矢野傳藏、眞ッ先になつて追かけて來る。

長七郎、走りながら、闇の中で嘲笑つてゐる。

「愚か者め。誰が逃げるものか……」やがて件の屋敷境を駈ぬけると、忽ちパツと眼界は開けて、正面は一帶の廣い芝生。前は小川を隔てゝ大安寺勢至堂の灯かげが杜の隙間に明滅する。

長七郎は、茲で思ふさま働くつもり。逃げると見せて敵を誘ひにかけたのです。

まんまと其の手に乘つた暗殺隊。

「イザ來い！」

踏み止まつて、ピラリ攻勢に轉じた長七郎の構へに、ギヨツとしながらも、暗殺隊の面々刄の垣を築いて取り圍んだ。